

地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細

令和 3 年 6 月 日

山形県地域公共交通活性化協議会

○地域間幹線系統確保維持費国庫補助金に関する事項

(地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 7 条第 2 項第 1 号～第 7 号関係)

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

本県では、総人口が減少する一方で65歳以上の高齢者数が年々増加する中、平成29年3月の改正道路交通法の施行を契機に自動車運転免許の返納も増加傾向にあるなど、移動手段を公共交通に頼らざるを得ない、いわゆる交通弱者が増加することが見込まれている。

一方では、学校、病院、行政機関の再編統合、郊外型大型店舗の進出に伴う地元商店街の衰退等により、県民の生活圏が拡大しており、地域間幹線系統のバス路線は、通院、通学、通勤、買い物等の日常生活を行う上で不可欠な移動手段となっている。

しかしながら、少子高齢化やモータリゼーションの進展等により、本県におけるバス利用者数は、この30年間で8割以上減少し、現在も減少傾向に歯止めがかからない状況にあり、更に近年のコロナ禍によりバス事業者は極めて厳しい経営環境に置かれている。

これらのことから、一定規模の乗合バス事業をバス事業者が単独で継続運行することが困難な状況になっており、国、県による地域公共交通確保維持事業による支援が必要となっている。

今回、当該計画において認定申請する幹線バス系統は、鉄道、幹線系統以外の路線バス、市町村が維持に努めるバスやデマンド型交通との接続や、各地域の中核的な医療機関や高等学校等の公共施設など利用者のニーズに対応しているものである。特に、鉄道のない市町村については、移動手段の確保に特段の配慮を行っている。

本協議会としては、県民が安心して社会生活を送り、積極的に社会参加でき、活力ある地域へとつながるよう、今後とも複数市町村にまたがる広域的・幹線的なバス系統の確保・維持に努めていく。

○山形県地域公共交通計画<施策・事業3-2-1>地域内交通ネットワークについて、県内関係者及び隣接地域の意見を踏まえた改善や見直しの検討等を定期的に行う。

・山形県地域公共交通活性化協議会における定期的な協議・検証

○山形県地域公共交通計画<施策・事業1-1-1><1-2-1>によって整備・運用されている山形県地域公共交通情報共有基盤に対し、GTFS-JP等のデータを適時適切に提供する。

・GTFS-JP等のデータの県ホームページ上での公開

○山形県地域公共交通計画の<施策・事業3-1-1>に基づき、特に本事業の対象路線・サービスが接続する地域間交通ネットワークの維持・強化を図る。

・地域公共交通計画の<施策・事業2-1-1>によって導入される交通系ICカードについて、県民や来訪者への普及啓発

・本事業対象路線・サービスに対して交通系ICカードの導入の検討

○その他、公共交通サービスの利用促進や改善のための事業を実施する。

2. 運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を作成し添付

3. 運行系統の利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法・測定方法

○山形県地域公共交通計画 大目標 数値目標2の達成

- ・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

RESASの移動実態数値（本県への来訪者数等）：県外 60,000 人、県内 70,000 人

○山形県地域公共交通計画 中目標（3）数値目標3の達成

- ・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

市町村総合交付金対象路線・サービス（本計画対象系統を含む地域内交通ネットワーク全体）の人口あたりの乗車人員：2.50 回／人

○山形県地域公共交通計画 中目標（3）数値目標4の達成

- ・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

市町村の移動サービスに対する負担額

地域鉄道：7,203 万 6 千円（直近年度の実績 5,602 万 8 千円）

路線バス：4 億 6,000 万円（直近年度の実績 5 億 926 万 7 千円）

コミュニティバス：4 億 4,000 万円（直近年度の実績 4 億 9,030 万 1 千円）

デマンド交通：1 億 5,000 万円（直近年度の実績 1 億 9,722 万 8 千円）

タクシー：1 億円（直近年度の実績 0 円）

（山形県地域公共交通計画 P.129、132 参照）

○上記目標を達成するための細目標の達成（年次目標）

- ・上記目標を達成するためには、特に地域間幹線系統の維持・利用拡大が不可欠であり、各系統において後述の生産性向上の取組みを進めながら、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」に記載する計画輸送量の達成を目標とする。

○事業の効果

- ・地域間幹線バス系統を維持することにより、地域で生活する移動制約者の生活に必要な交通手段が確保される。また、広域的・幹線的系統と地域的・支線的系統の有機的な連携により、効率的なバスネットワークが形成され、県民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。
- ・定量的な事業目標を導入することにより、運行費用の抑制や効率的な運行を促進し、適切な受益者負担やサービス水準へ誘導することが期待できる。

○上記目標・細目標の評価手法・測定方法

- ・上記目標・細目標の年度毎の達成状況について、最新のRESASの数値や事業者等から提出された利用者数・収支率等の実績を基に、山形県地域公共交通活性化協議会において評価・検討を行う。

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」を作成し添付

5. 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

(9) 山交ビル（県立中央病院・高掬）天童温泉

運行系統の概要については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表3」を作成し添付。

6. 別表1の補助対象事業の基準に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧
【地域間幹線系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表4」を作成し添付

7. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
【地域間幹線系統のみ】

別添資料「幹線系統バスの生産性向上に係る取組み一覧」のとおり

○車両減価償却費等国庫補助金に関する事項

(地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 21 条第 1 号～第 4 号関係)

8. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費補助等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

地域間幹線系統路線を運行するバス車両については、使用開始から 20 年以上を経過するなど耐用年数を大幅に上回っており、老朽化に伴い修繕費も年々増加していることから、早急な買い換えが必要となっている。

しかしながら、幹線系統の路線バス事業は運行欠損を生じており、事業者単独で車両の取得を押し進めていくことは困難であり、車両減価償却費等国庫補助金の活用により、取得を進めるものである。

取得にあたっては、高齢者等の移動等の円滑化に配慮するものとし、令和 4 年度は上記のうちノンステップバス 3 台を購入するものである。

9. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費補助等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

やまがた長寿安心プラン（令和 3 年度策定）における
令和 7 年度末の乗合バスのノンステップ化率 80%

○山形県地域公共交通計画 大目標 数値目標 2 の達成

・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

RESAS の移動実態数値（本県への来訪者数等）：県外 60,000 人、県内 70,000 人

○山形県地域公共交通計画 中目標（3）数値目標 3 の達成

・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

市町村総合交付金対象路線・サービス（本計画対象系統を含む地域内交通ネットワーク全体）の人口あたりの乗車人員：2.50 回／人

○山形県地域公共交通計画 中目標（3）数値目標 4 の達成

・県全体目標値（目標年度 R6 年度末）

市町村の移動サービスに対する負担額

地域鉄道：7,203 万 6 千円（直近年度の実績 5,602 万 8 千円）

路線バス：4 億 6,000 万円（直近年度の実績 5 億 926 万 7 千円）

コミュニティバス：4 億 4,000 万円（直近年度の実績 4 億 9,030 万 1 千円）

デマンド交通：1 億 5,000 万円（直近年度の実績 1 億 9,722 万 8 千円）

タクシー：1 億円（直近年度の実績 0 円）

（山形県地域公共交通計画 P.129、132 参照）

○上記目標を達成するための細目標の達成（年次目標）

・上記目標を達成するためには、特に地域間幹線系統の維持・利用拡大が不可欠であり、各系統において後述の生産性向上の取組みを進めながら、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 2」に記載する計画輸送量の達成を目標とする。

(2) 事業の効果

老朽化した車両の更新として車両を取得することにより地域間幹線バスシステムの維持が図られるとともに、特にノンステップバスの導入促進によって地域で生活する高齢者をはじめとする移動制約者の日常生活に必要な移動手段の確保の一助となる。さらには、県民の社会参加促進や地域活性化にもつながる。

10. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表6」及び「表7」を作成し添付
なお、山形県は国庫補助金と同額を負担。

○その他申請に関する事項

11. 協議会の開催状況と主な議論

○ 山形県地域公共交通活性化協議会（全体協議会）

<令和2年度>

- ・ 令和2年4月23日（第1回）：協議会の設立、公開原則の議決 等
- ・ 令和2年7月15日（第2回）：地域公共交通計画策定に向けた議論
- ・ 令和2年10月26日（第3回）：地域公共交通計画骨子案の議論
- ・ 令和3年1月28日（第4回）：地域公共交通計画素案の議論
- ・ 令和3年3月23日（第5回）：地域公共交通計画案の議論

<令和3年度>

- ・ 令和3年6月 日（第1回）：国庫補助要綱改正を踏まえた地域公共交通計画の修正についての議論

○ 山形県地域公共交通活性化協議会（地域別部会）

<令和2年度>

山形県地域公共交通活性化協議会地域別部会

- ・ 第1回：地域公共交通計画策定に向けた地域課題の整理
- ・ 第2回：地域公共交通計画素案に対する地域の意見整理

※村山：①R2.10.19、②R3.1.18、最上：①R2.10.5、②R3.1.19、

置賜：①R2.10.12、②R3.1.14、庄内：①R2.9.29、②R3.1.15

○ 山形県主催の補助要綱改正等の内容説明会

- ・ 令和3年4月20日：補助要綱の改正とそれに伴う県計画の修正の説明・質疑応答

12. 利用者等の意見の反映状況

山形県地域公共交通活性化協議会及びその地域別部会については、原則すべての資料及び議事が協議会事務局（山形県）により県民全てに公開され、議事やその他地域公共交通に関する意見の提供ができる状況にあり、提供された意見については、施策の反映につなげている。

13. 協議会メンバーの構成員

| | |
|----------------|---|
| 関係都道府県 | 山形県みらい企画創造部総合交通政策課長 |
| 関係市区町村 | 山形県内市町村地域公共交通担当課長（全35市町村） 宮城県総合交通対策課長 福島県生活交通課長 仙台市公共交通推進課長 |
| 交通事業者・交通施設管理者等 | 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所交通対策課長 山形県県土整備部道路保全課長 山形県県土整備部空港港湾課長 関係バス事業の代表者 東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社 山形鉄道株式会社 山形空港ビル株式会社 庄内空港ビル株式会社 |
| 地方運輸局 | 東北運輸局山形運輸支局長 |
| その他協議会が必要と認める者 | 一般社団法人山形県バス協会会長 一般社団法人山形県ハイヤー協会会長 山形県ハイヤー・タクシー協会会長 山形県交通運輸産業労働組合協議会議長 山形県警察本部交通部交通企画課長 各総合支庁総務企画部総務課連携支援室長 |

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 山形県山形市松波二丁目 8-1

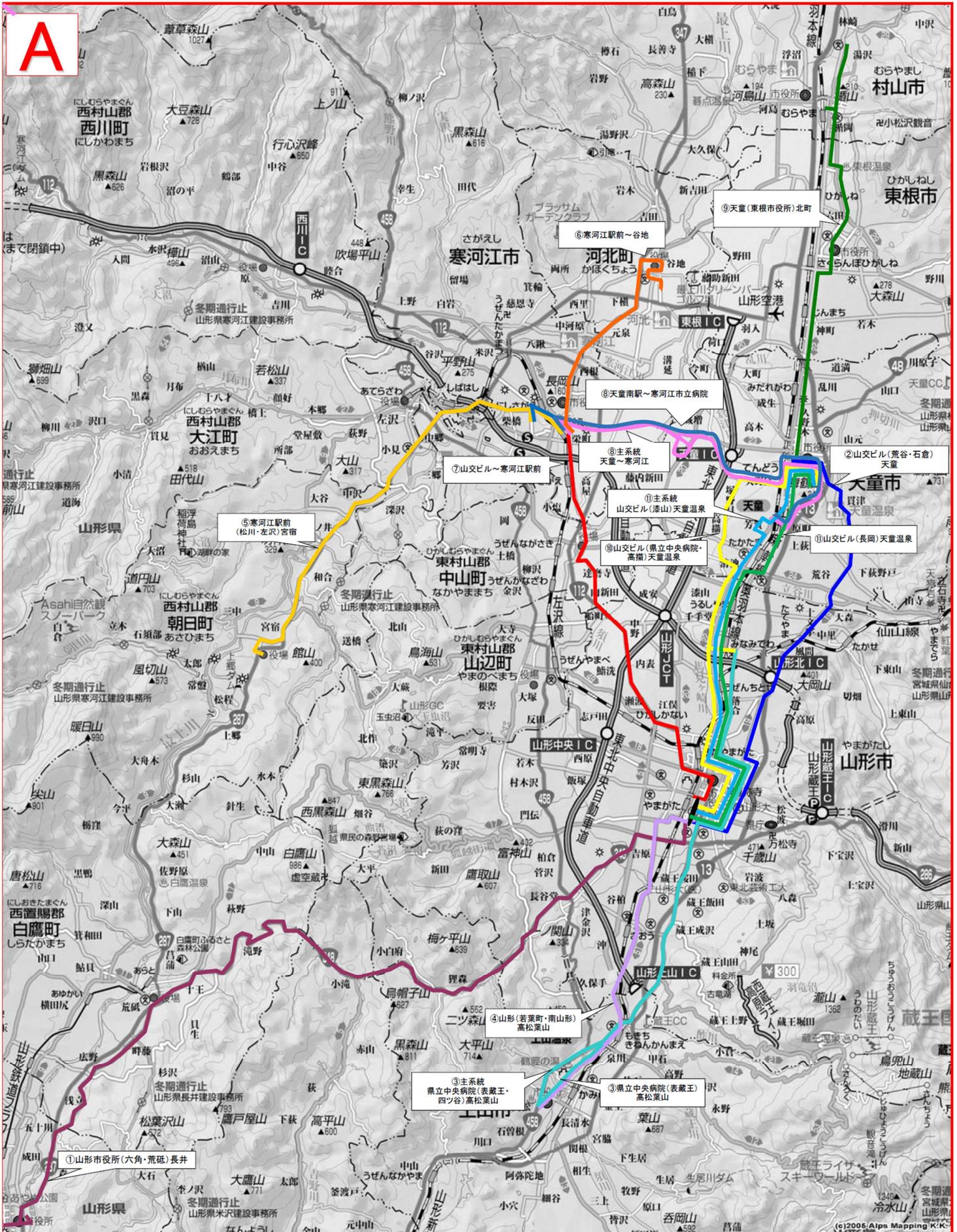
(所属) 山形県みらい企画創造部総合交通政策課

(氏名) 主事 上村 愛実

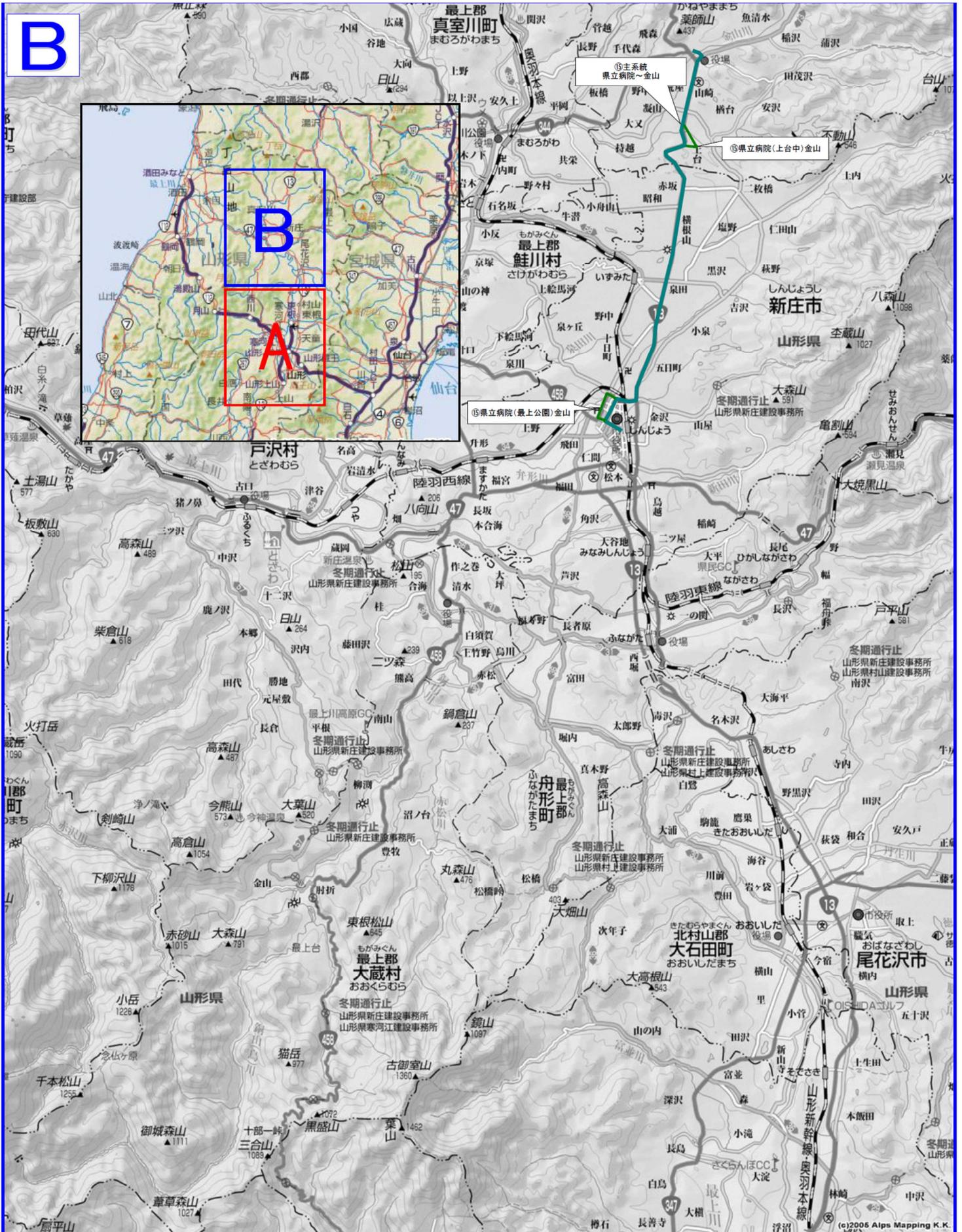
(電話) 023-630-3417

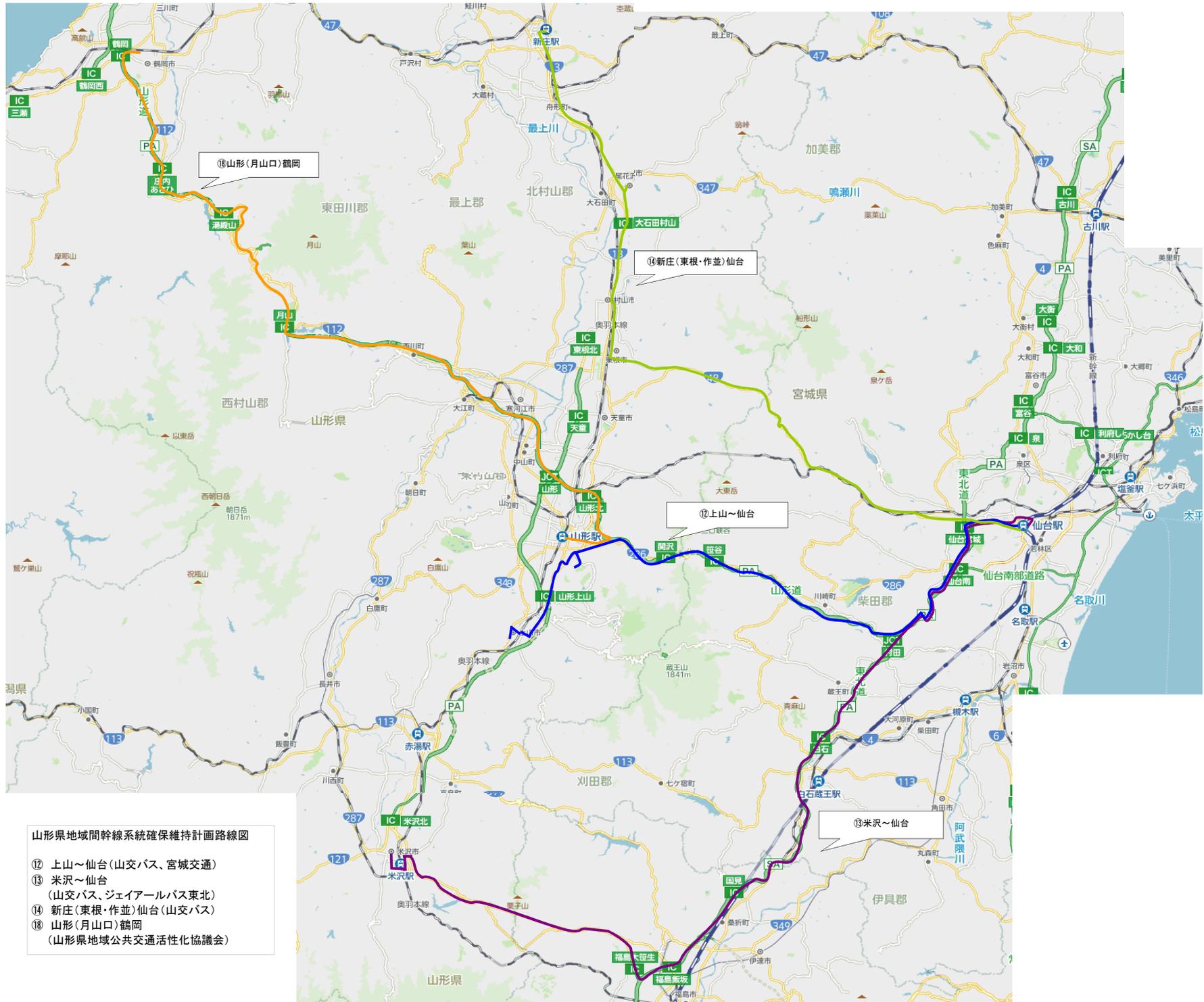
(e-mail) ykotsu@pref.yamagata.lg.jp

山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図(山交バス)



山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図(山交バス)

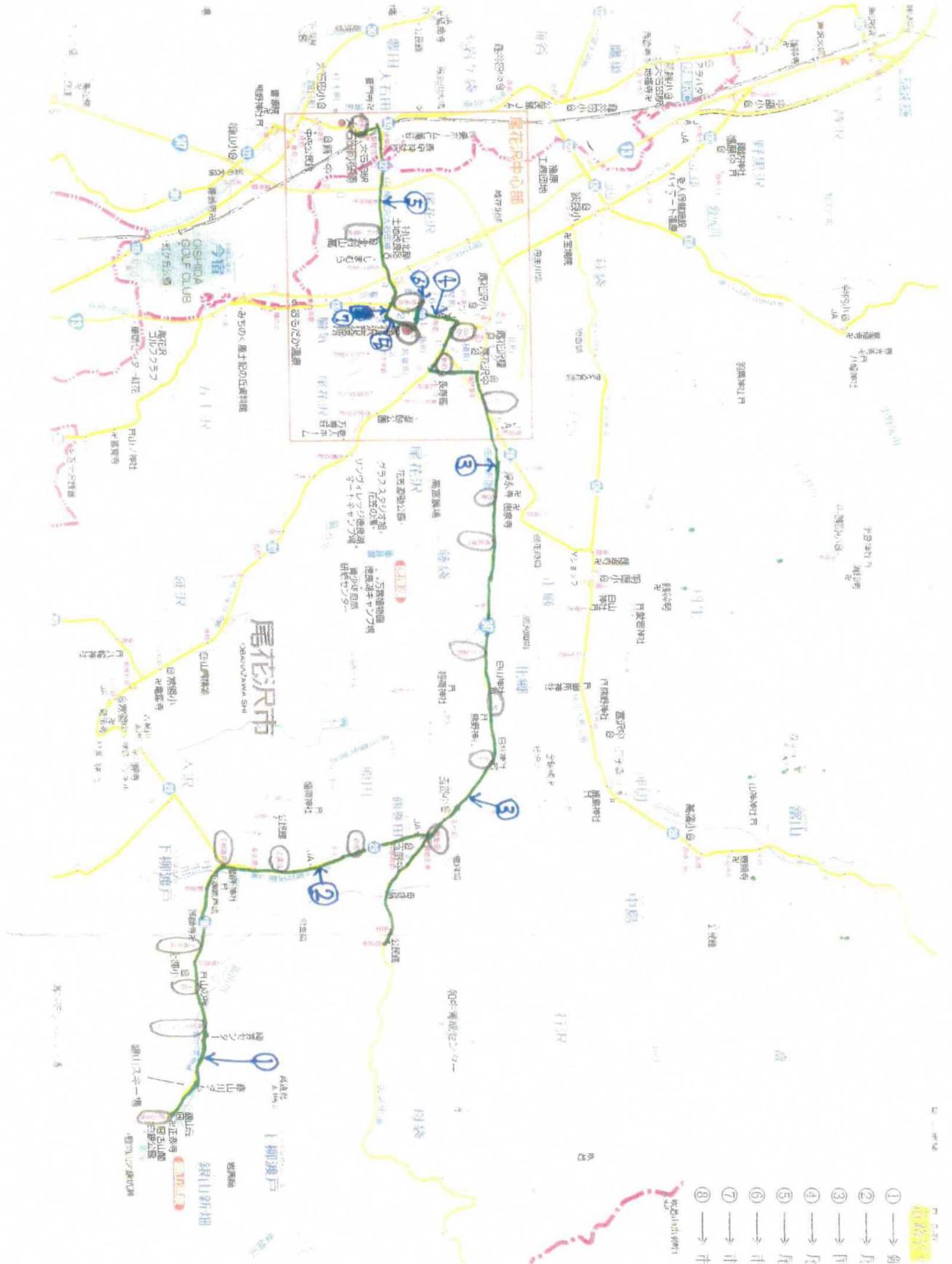




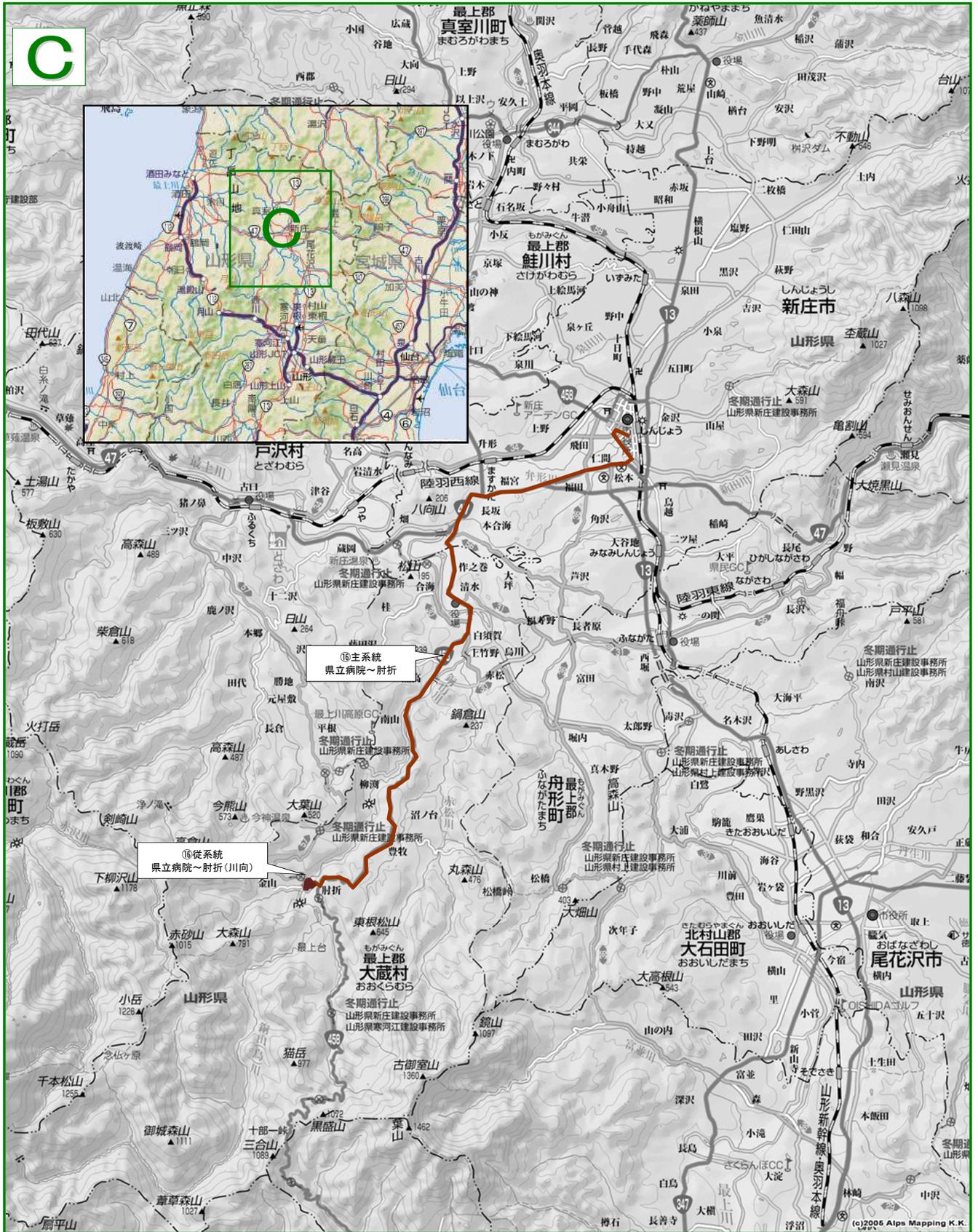
山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図

- ⑫ 上山～仙台 (山交バス、宮城交通)
- ⑬ 米沢～仙台 (山交バス、ジェイアールバス東北)
- ⑭ 新庄(東根・作並)仙台(山交バス)
- ⑯ 山形(月山口)鶴岡 (山形県地域公共交通活性化協議会)

山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図(はながさバス)



山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図(新庄輸送サービス)



山形県地域間幹線系統確保維持計画路線図（庄内交通）

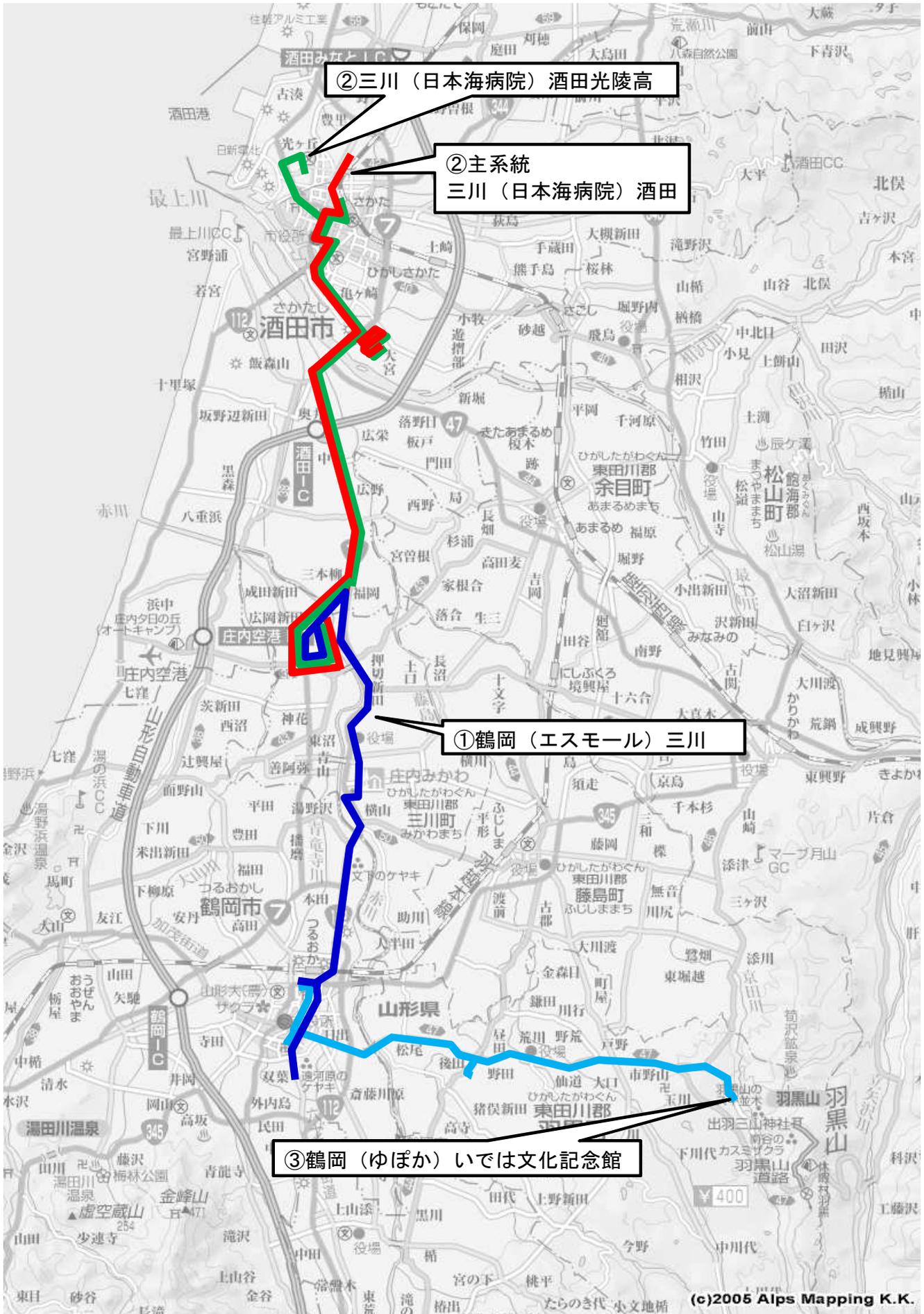


表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

4年度

| 都道府県 (市区町村) | 運行予定者名 | 運行系統名 (申請番号) | 確保維持事業に要する 国庫補助額 (千円) | 特例措置 |
|---------------------|------------------|--------------------------|-----------------------------|------|
| 山形県 | 山交バス(株) | (1) 山形市役所(六角・荒砥)長井 | 14,316.5 | 1 |
| | | (2) 山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 7,203.0 | |
| | | (3) 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山 | 3,190.5 | |
| | | (4) 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 4,974.5 | |
| | | (5) 寒河江駅前(松川・左沢)宮宿 | 5,857.0 | |
| | | (6) 寒河江駅前～谷地 | 4,291.0 | |
| | | (7) 山交ビル～寒河江駅前 | 9,446.0 | |
| | | (8) 天童～寒河江 | 4,344.5 | 3 |
| | | (9) 天童(東根市役所)北町 | 1,872.0 | |
| | | (10) 山交ビル(県立中央病院・高橋)天童温泉 | 623.5 | |
| | | (11) 山交ビル(漆山)天童温泉 | 9,195.0 | |
| | | (12) 上山～仙台 | 15,951.0 | 3 |
| | | (13) 米沢～仙台 | 14,504.0 | 3 |
| | | (14) 新庄(東根・作並)仙台 | 27,036.0 | 3 |
| | | (15) 県立病院～金山 | 4,518.0 | |
| | 小計 | 127,322.0 | | |
| | 宮城交通(株) | (12) 上山～仙台 | 11,578.0 | 3 |
| | | 小計 | 11,578.0 | |
| | ジェイアールバス東北(株) | (13) 米沢～仙台 | 19,173.0 | 3 |
| | | 小計 | 19,173.0 | |
| | (株)新庄輸送サービス | (16) 県立病院～肘折 | 3,958.0 | |
| 小計 | | 3,958.0 | | |
| (有)はながさバス | (17) 銀山線 | 4,771.0 | 3 | |
| | 小計 | 4,771.0 | | |
| 山形県地域公共交通 活性化協議会 | (18) 山形(月山口)鶴岡 | 14,368.0 | 3 | |
| | 小計 | 14,368.0 | | |
| 庄内交通(株) | (19) 鶴岡～三川 | 6,958.0 | 3 | |
| | (20) 三川～酒田 | 6,783.0 | 3 | |
| | (21) 鶴岡～いでは文化記念館 | 8,830.0 | 3 | |
| | 小計 | 22,571.0 | | |
| 合 計 | | | 203,741.0 | |

※令和5年度、令和6年度については、令和4年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

(注)

1. 本表に記載する運行予定系統を示した地図(運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む)を添付すること。
2. 「特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2-5.ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。
3. 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。(記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」)

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

4年度(山交)-1

| | |
|------|----------|
| 事業者名 | 山交バス株式会社 |
|------|----------|

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の 前々年度(基準期間) の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | | | |
|--------------------------------|-------------|-----------|----|-------|--------|----|---------|-----------|----|
| | 営業収益 | 765,003 | 千円 | 営業外収益 | 14,351 | 千円 | 経常収益(イ) | 779,354 | 千円 |
| | 営業費用 | 1,236,082 | 千円 | 営業外費用 | 2,671 | 千円 | 経常費用(ロ) | 1,238,753 | 千円 |
| | 営業損益 | △ 471,079 | 千円 | 営業外損益 | 11,680 | 千円 | 経常損益 | △ 459,399 | 千円 |
| 補助対象期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 3,884,479.5 | Km | | | | | 経常収支率 | 62.91% | |

| 基準期間の前年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | | | |
|------------------------|-------------|-----------|----|-------|-------|----|---------|-----------|----|
| | 営業収益 | 926,465 | 千円 | 営業外収益 | 1,788 | 千円 | 経常収益(イ) | 928,233 | 千円 |
| | 営業費用 | 1,206,229 | 千円 | 営業外費用 | 484 | 千円 | 経常費用(ロ) | 1,206,713 | 千円 |
| | 営業損益 | △ 279,764 | 千円 | 営業外損益 | 1,284 | 千円 | 経常損益 | △ 278,480 | 千円 |
| 基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ) | 3,872,341.1 | Km | | | | | 経常収支率 | 76.92% | |

| 基準期間の前々年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------|-----------|----|-------|-----|----|---------|-----------|----|
| | 営業収益 | 925,296 | 千円 | 営業外収益 | 678 | 千円 | 経常収益(イ) | 925,974 | 千円 |
| | 営業費用 | 1,208,973 | 千円 | 営業外費用 | 430 | 千円 | 経常費用(ロ) | 1,209,403 | 千円 |
| | 営業損益 | △ 283,677 | 千円 | 営業外損益 | 248 | 千円 | 経常損益 | △ 283,429 | 千円 |
| 基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 3,897,051.7 | Km | | | | | 経常収支率 | 76.56% | |

(補助対象事業者の「基準期間」を最終年度とする連続した過去3年間)における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用(基準期間の前々年度) | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用(基準期間の前年度) | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用(基準期間) |
|---------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| | ロ ¹ ×ハ ² =a | ロ ¹ ×ハ ² =b | ロ ¹ ×ハ ² =c |
| 羽越 | 310円33銭 | 311円62銭 | 318円69銭 |

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (a+b+c)/3=ニ | 地域キロ当たり 標準経常費用 ホ | キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ | キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト |
|---------|--|------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 羽越 | 313円61銭 | 352円03銭 | 313円61銭 | 200円83銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助 ブロック 番号 | 申請 例 番号 | 特 種 運 行 系 統 名 | 運 行 系 統 | | | 計画運行 回数 ①=カ×コ | 計画平均 乗車密度 ② | 計画平均 乗車量 ③=②×④ | 系 統 | | | 地域公共交通再編 事業を実施する区 域におけるキロ程 オ | 系統キロ程と地域公 共交通再編事業を突 施する区域における キロ程との比率 オ÷チ=ク | 補助ブロック外 乗入部分の キロ程 リ | 同一補助ブロック 都道府県外乗入 部分のキロ程 ヌ | 他路線との競合 部分に係わる キロ程 ル | 担 負 者 の 費 用 割 合 率 ホ ト | 補助ブロック外乗 入部分、同一補助 ブロック内都道府県 外乗入部分及び 他路線との競合部 分以外のキロ程の 比率 ク÷(ク+ヌ+ル) | | |
|----------------------------|---------------|---------------------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------|---------------------|-------------------|----------------------|------------------|------------------|-------|---------------------------------------|---|------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|---|---|------|------|
| | | | 起 点 | 主 な 経 過 地 | 終 点 | | | | キ ロ 程 チ | キ ロ 程 オ | | | | | | | | | | |
| 羽 越 ブ ロ ッ ク | 第1号 | 1 | 山形市役所(六角・荒砥)長井 | 山形市役所前 荒砥 | 道の駅 川のみなと長井 | 364 | 2,184.0 (5.9) | 2.8 | 16.5 | 46.5 46.4 | 46.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% | |
| | 第2号 | | 山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 山交ビル バスターミナル 石倉 | 天童駅前 | 364 | 4,965.5 (13.6) | 3.6 | 48.9 | 19.7 19.0 | 19.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% | |
| | 第3号 | | 県立中央病院(表蔵王・ 四ツ谷)高松葉山 | 県立中央 病院 高松葉山 | 表蔵王口 四ツ谷 | 364 | 2,425.0 (6.6) | 3.6 | 23.7 | 21.1 21.0 | 21.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% | |
| | 第4号 | | 山形(若葉町・ 南山形)高松葉山 | 千歳公園 待合所 | 若葉町 南山形 | 364 | 5,696.0 (15.6) | 4.0 | 62.4 | 19.0 19.0 | 19.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第5号 | | 寒河江駅前 (松川・左沢)宮宿 | 寒河江駅前 左沢 | 朝日町 役場前 | 364 | 1,938.0 (5.3) | 4.8 | 25.4 | 23.1 22.3 | 22.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第6号 | | 寒河江駅前～谷地 | 寒河江駅前 | ひなの湯 産直センター前 | 364 | 3,999.0 (10.9) | 3.7 | 40.3 | 11.6 11.6 | 11.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第7号 | | 山交ビル～寒河江駅前 | 山交ビル バスターミナル | 寒河江駅前 | 364 | 7,078.0 (19.3) | 2.7 | 52.1 | 19.6 19.0 | 19.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第8号 | 3 | 天童～寒河江 | 天童南駅 | 天童駅前 寒河江駅前 | 364 | 1,841.5 (5.0) | 3.2 | 16.0 | 17.2 17.2 | 17.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第9号 | | 天童(東根市役所)北町 | 天童駅前 市役所前 | 北町 | 364 | 2,543.0 (6.9) | 1.8 | 12.4 | 18.0 18.0 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第10号 | | 山交ビル(県立中央病院・ 高橋)天童温泉 | 山交ビル バスターミナル | 県立中央 病院・高橋 | 241 | 723.0 (3.0) | 2.3 | 6.9 | 24.5 23.6 | 24.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第11号 | | 山交ビル(湯山)天童温泉 | 山交ビル バスターミナル | 湯山 | 364 | 8,362.0 (22.9) | 2.6 | 59.5 | 18.0 17.1 | 17.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 第15号 | | 県立病院～金山 | 県立病院前 | 県立 金山 | 364 | 3,327.5 (9.1) | 3.1 | 28.2 | 17.5 17.5 | 17.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100% |
| | 合 計 | | | 12 系統 | | | | | | | 255.8 | 251.7 | 253.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |

※令和5年度、令和6年度については、令和4年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特例措置 | 補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 ($\frac{ア}{ア+イ}$) ワ | 補助対象経常費用の見込額 ヘ×ワ以下の額:カ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | | | | 補助対象経常収益の見込額 ノ×ワ以上の額:ヨ | 補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カ-ヨ | 補助対象経常費用の限度額 カ×9/20=レ | タ又はレのうちいずれか少ないほうの額 ソ | |
|---------|------|------|---|---------------------------|------------------|-----------------|-------------------------------|-----------|-----------------|-------------------------------|-----------|-----------------|-------------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------|
| | | | | | 基準期間の前々年度 | | | 基準期間の前年度 | | | 基準期間 | | | | | | | |
| | | | | | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ÷マ=d | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ÷マ=e | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ÷マ=f | | | | | |
| | | | | | (d+e+f)÷3=ノ | | | | | | | | | | | | | |
| 第1号 | 1 | | 202,893.6 km | 63,629,461 円 | 139円05銭 | 29,376,940 円 | 202,300.6 km | 145円22銭 | 28,855,039 円 | 204,871.2 km | 140円84銭 | 26,216,908 円 | 199,947.0 km | 131円11銭 | 28,212,355 円 | 35,417,106 円 | 28,633,257 円 | 28,633,257円 |
| 第2号 | | | 192,080.5 km | 60,238,365 円 | 200円27銭 | 37,786,583 円 | 191,868.0 km | 196円94銭 | 39,188,431 円 | 191,230.5 km | 204円92銭 | 38,207,835 円 | 192,042.5 km | 198円95銭 | 38,467,961 円 | 21,770,404 円 | 27,107,264 円 | 21,770,404円 |
| 第3号 | | | 102,867.7 km | 32,260,339 円 | 211円25銭 | 20,826,399 円 | 102,776.8 km | 202円63銭 | 21,390,865 円 | 102,696.1 km | 208円29銭 | 22,959,740 円 | 103,036.1 km | 222円83銭 | 21,730,801 円 | 10,529,538 円 | 14,517,152 円 | 10,529,538円 |
| 第4号 | | | 216,448.0 km | 67,880,257 円 | 253円85銭 | 59,327,159 円 | 216,296.0 km | 274円28銭 | 58,214,907 円 | 215,840.0 km | 269円71銭 | 47,134,954 円 | 216,638.0 km | 217円97銭 | 54,945,324 円 | 12,934,933 円 | 30,546,115 円 | 12,934,933円 |
| 第5号 | | | 87,985.2 km | 27,593,038 円 | 162円94銭 | 13,509,928 円 | 93,246.4 km | 144円88銭 | 14,287,526 円 | 92,907.1 km | 153円78銭 | 17,237,296 円 | 90,638.9 km | 190円17銭 | 14,336,308 円 | 13,256,730 円 | 12,416,867 円 | 12,416,867円 |
| 第6号 | | | 92,776.8 km | 29,095,732 円 | 167円57銭 | 52,624,339 円 | 267,241.2 km | 196円91銭 | 52,727,146 円 | 266,318.1 km | 197円98銭 | 16,512,913 円 | 98,391.2 km | 167円62銭 | 17,402,144 円 | 11,693,588 円 | 13,093,079 円 | 11,693,588円 |
| 第7号 | | | 273,246.2 km | 85,692,740 円 | 180円17銭 | 16,096,365 円 | 92,956.8 km | 173円15銭 | 17,641,432 円 | 92,319.0 km | 191円09銭 | 48,513,140 円 | 275,194.0 km | 176円28銭 | 49,230,767 円 | 36,461,973 円 | 38,561,733 円 | 36,461,973円 |
| 第8号 | 3 | | 61,574.3 km | 19,310,316 円 | 57円23銭 | 3,708,250 円 | 60,652.8 km | 61円13銭 | 3,532,360 円 | 60,231.6 km | 58円64銭 | 3,161,710 円 | 60,663.4 km | 51円94銭 | 3,523,897 円 | 15,786,419 円 | 8,689,642 円 | 8,689,642円 |
| 第9号 | | | 91,548.0 km | 28,710,368 円 | 145円89銭 | 35,732,975 円 | 243,100.8 km | 146円98銭 | 13,073,602 円 | 91,116.0 km | 143円48銭 | 13,474,086 円 | 91,512.0 km | 147円23銭 | 13,355,937 円 | 15,354,431 円 | 12,919,665 円 | 12,919,665円 |
| 第10号 | | | 34,776.3 km | 10,906,195 円 | 206円03銭 | 8,643,099 円 | 34,832.0 km | 249円59銭 | 8,468,667 円 | 34,199.1 km | 247円62銭 | 4,169,544 円 | 34,487.7 km | 120円89銭 | 7,164,961 円 | 3,741,234 円 | 4,907,767 円 | 3,741,234円 |
| 第11号 | | | 291,142.2 km | 91,305,105 円 | 182円11銭 | 31,142,597 円 | 165,537.6 km | 188円13銭 | 56,493,123 円 | 294,570.6 km | 191円78銭 | 48,849,692 円 | 293,526.6 km | 166円42銭 | 53,019,906 円 | 38,285,199 円 | 41,087,297 円 | 38,285,199円 |
| 第15号 | | | 116,534.8 km | 36,546,478 円 | 149円20銭 | 20,153,006 円 | 116,342.0 km | 173円22銭 | 19,536,200 円 | 115,763.6 km | 168円75銭 | 12,289,547 円 | 116,341.7 km | 105円63銭 | 17,386,992 円 | 19,159,486 円 | 16,445,915 円 | 16,445,915円 |
| 合計 | | | 1,763,873.6 km | 553,168,394 円 | | 328,930,440 円 | 1,786,951.0 km | | 333,409,298 円 | 1,762,062.9 km | | 298,727,365 円 | 1,772,619.1 km | | 318,777,353 円 | 234,391,041 円 | 248,925,773 円 | 214,522,215円 |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特例措置 | ソ×ラ=ツ | ソ×マ'=ツ' | 補助対象経費 ナ | 計画額 ナ×1/2=ラ | 経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ-ヨ=ム | 損失額から国庫補助額を控除した額 ム-ラ=ウ | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------|------|------|--------------|---------|-------------|----------------|-----------------------------|---------------------------|--------------|------------|-------|------|-------|------|-------------|-------|----------------|
| | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | その他の者(の具体的な概要) |
| | | | | | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 第1号 | 1 | | 28,633,257円 | 円 | 28,633 千円 | 14,316.5 千円 | 35,417,106円 | 21,100,606円 | 14,316,500円 | 67.8% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 6,784,106円 | 32.2% | |
| 第2号 | | | 21,770,404円 | 円 | 14,406,885円 | 14,406 千円 | 21,770,404円 | 14,567,404円 | 7,203,000円 | 49.4% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 7,364,404円 | 50.6% | |
| 第3号 | | | 10,529,538円 | 円 | 6,381,538円 | 6,381 千円 | 10,529,538円 | 7,339,038円 | 3,190,500円 | 43.5% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 4,148,538円 | 56.5% | |
| 第4号 | | | 12,934,933円 | 円 | 9,949,948円 | 9,949 千円 | 12,934,933円 | 7,960,433円 | 4,974,500円 | 62.5% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 2,985,933円 | 37.5% | |
| 第5号 | | | 12,416,867円 | 円 | 11,714,025円 | 11,714 千円 | 13,256,730円 | 7,399,730円 | 5,857,000円 | 79.2% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 1,542,730円 | 20.8% | |
| 第6号 | | | 11,693,588円 | 円 | 8,582,449円 | 8,582 千円 | 11,693,588円 | 7,402,588円 | 4,291,000円 | 58.0% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 3,111,588円 | 42.0% | |
| 第7号 | | | 36,461,973円 | 円 | 18,892,213円 | 18,892 千円 | 36,461,973円 | 27,015,973円 | 9,446,000円 | 35.0% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 17,569,973円 | 65.0% | |
| 第8号 | 3 | | 8,689,642円 | 円 | 8,689 千円 | 4,344.5 千円 | 15,786,419円 | 11,441,919円 | 4,344,500円 | 38.0% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 7,097,419円 | 62.0% | |
| 第9号 | | | 12,919,665円 | 円 | 3,744,830円 | 3,744 千円 | 18,720,000円 | 13,482,431円 | 1,872,000円 | 13.9% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 11,610,431円 | 86.1% | |
| 第10号 | | | 3,741,234円 | 円 | 1,247,078円 | 1,247 千円 | 623.5 千円 | 3,741,234円 | 3,117,734円 | 623,500円 | 20.0% | 0円 | 0% | 0円 | 2,494,234円 | 80.0% | |
| 第11号 | | | 38,285,199円 | 円 | 18,390,270円 | 18,390 千円 | 38,285,199円 | 29,090,199円 | 9,195,000円 | 31.6% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 19,895,199円 | 68.4% | |
| 第15号 | | | 16,445,915円 | 円 | 9,036,217円 | 9,036 千円 | 4,518.0 千円 | 19,159,486円 | 14,641,486円 | 4,518,000円 | 30.9% | 0円 | 0% | 0円 | 10,123,486円 | 69.1% | |
| 合計 | | | 214,522,215円 | 円 | 139,663 千円 | 69,831.0 千円 | 234,391,041円 | 164,559,541円 | 69,831,000円 | 42.4% | 0円 | 0% | 0円 | 0% | 94,728,041円 | 57.6% | |

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名 宮城交通株式会社

令和4年度

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※]) の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|--|----------------|--------------|-------|------------|---------|--------------|
| | 営業収益 | 2,838,619 千円 | 営業外収益 | 123,299 千円 | 経常収益(イ) | 2,961,918 千円 |
| | 営業費用 | 3,753,227 千円 | 営業外費用 | 354 千円 | 経常費用(ロ) | 3,753,581 千円 |
| | 営業損益 | △ 914,608 千円 | 営業外損益 | 122,945 千円 | 経常損益 | ▲ 791,663 千円 |
| 補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 5,759,342.7 km | | | | 経常収支率 | 78.90 % |

| 基準期間の前年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|------------------------|----------------|--------------|-------|-----------|---------|--------------|
| | 営業収益 | 3,714,884 千円 | 営業外収益 | 84,763 千円 | 経常収益(イ) | 3,799,647 千円 |
| | 営業費用 | 3,789,405 千円 | 営業外費用 | 454 千円 | 経常費用(ロ) | 3,789,859 千円 |
| | 営業損益 | △ 74,521 千円 | 営業外損益 | 84,309 千円 | 経常損益 | 9,788 千円 |
| 基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ) | 6,309,930.4 km | | | | 経常収支率 | 100.25 % |

| 基準期間の前々年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|-------------------------|----------------|--------------|-------|-----------|---------|--------------|
| | 営業収益 | 3,803,749 千円 | 営業外収益 | 79,535 千円 | 経常収益(イ) | 3,883,284 千円 |
| | 営業費用 | 3,817,476 千円 | 営業外費用 | 1,367 千円 | 経常費用(ロ) | 3,818,843 千円 |
| | 営業損益 | △ 13,727 千円 | 営業外損益 | 78,168 千円 | 経常損益 | 64,441 千円 |
| 基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 6,721,184.1 km | | | | 経常収支率 | 101.68 % |

(補助対象事業者の「基準期間」を最終年度とする連続した過去3年間)における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ×ハ÷イ | 補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ×ハ÷イ | 補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間) ロ×ハ÷イ |
|---------|---|--|--|
| 東北 | 568円 18銭 | 600円 61銭 | 651円 73銭 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (a+b+c)÷3=ニ | 地域キロ当たり 標準経常費用 ホ | キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ | キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト |
|---------|--|------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 羽越 | 606円 84銭 | 352円 03銭 | 352円 03銭 | 514円 28銭 |
| 東北 | 606円 84銭 | 340円 62銭 | 340円 62銭 | 514円 28銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 運行系統 | | | 計画運行 回数 () ①=カコ 内 | 計画平均乗 車密度 ② | 計画 輸送量 ①×② =③ | 系統キロ程 チ | 地域公共交通再編事業 を実施する区域における キロ程 オ | 系統キロ程と地域公共 交通再編事業を実施する 区域におけるキロ程と の比率 オ÷チ=ク | 補助ブロック外 乗入部分のキロ程 リ | 同一補助ブロック 都道府県外乗入 部分のキロ程 ヌ | 他路線との競合 部分に係るキロ程 ル | 他路線 との競 合率 ル÷チ | 補助ブロック 外乗入部分、 同一補助ブ ロック都道府 県外乗入部分 及び他路線と の競合部分以 外のキロ程の 比率 (チー(リ+ヌ +ル))÷チ=マ | | | | | |
|---------|------|------|--------------------|------|---------------|--------------------------------|-------------------|------------------------|------------|---------------------------------------|---|--------------------------|------------------------------------|---------------------------|-------------------------|--|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---|--------|
| | | | 運行系統 名 | 起点 | 主な 経由 地 | | | | | | | | | | | | 終点 | | | | |
| 羽越 | 第12号 | 3 | 高滝(仙 台~上 山線) | 山形県庁 | 山形県庁 | 365 | 日 | 1,336 (3.6) | 回 | 10.5 | 37.8人 | 往80.9Km(平均) 復80.8Km | 80.8Km | 往 . Km(平均) 復 . Km . Km | 往51.3Km(平均) 復51.1Km | 51.2Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | % | 36.63% |
| 東北 | 第12号 | 3 | 高滝(仙 台~上 山線) | 山形県庁 | 山形県庁 | 365 | 日 | 1,336 (3.6) | 回 | 10.5 | 37.8人 | 往80.9Km(平均) 復80.8Km | 80.8Km | 往 . Km(平均) 復 . Km . Km | 往29.6Km 復29.7Km | 29.6Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | 往 . Km . Km 復 . Km . Km | % | 63.36% |
| | | | | | | | 日 | () | 回 | | 人 | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | % | % |
| | | | | | | | 日 | () | 回 | | 人 | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | % | % |
| 合計 | 系統 | | | | | | | | | | | 往80.9Km 復80.8Km | 80.8Km | 往 . Km 復 . Km | 80.8Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | 往 . Km 復 . Km | . Km | % | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助ブロック外乗入部分 及び同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分 以外のキロ程の 比率 (チー(リ+ヌ +ル))÷チ=マ | 計画実車走 行キロ ワ | 補助対象 経常費用 の見込額 ヘ×ワ以下の額: (d+e+f)÷3=ノ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | | | | 補助対象 経常収益 の見込額 ノ×ワ以上の額:ヨ | 補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カ×ヨ=タ | 補助対象経費 の限度額 カ×ヨ/20=シ | タ又はシのうちい ずれか少ないほう の額 ソ | |
|---------|------|------|--|-------------------|---|------------------|-----------------|--|-----------|-----------------|--|-----------|-----------------|--|-----------------------------------|---|----------------------------|---------------------------------|-------------|
| | | | | | | 基準期間の前々年度 | | | 基準期間の前年度 | | | 基準期間 | | | | | | | |
| | | | | | | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象 系統の実 車走行キ ロ当たり 経常費 用 ヤ×マ=イ d | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象 系統の実 車走行キ ロ当たり 経常費 用 ヤ×マ=イ e | 経常収益 ヤ | 実車走行 キロ マ | 補助対象 系統の実 車走行キ ロ当たり 経常費 用 ヤ×マ=イ f | | | | | |
| 羽越 | 第12号 | 3 | 36.63% | 216,032.2 km | 76,049,463円 | 237円60銭 | 60,349,623円 | 215,031.8km | 280円65銭 | 57,506,628円 | 214,955.4km | 267円52銭 | 33,883,268円 | 205,784.4km | 164円65銭 | 51,329,013円 | 24,720,450円 | 34,222,258円 | 24,720,450円 |
| 東北 | 第12号 | 3 | 63.36% | 216,032.2 km | 73,584,547円 | 237円60銭 | 60,349,623円 | 215,031.8km | 280円65銭 | 57,506,628円 | 214,955.4km | 267円52銭 | 33,883,268円 | 205,784.4km | 164円65銭 | 51,329,013円 | 22,255,534円 | 33,113,046円 | 22,255,534円 |
| | | | % | . km | 円 | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | | % | . km | 円 | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | . km | 円 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 合計 | | | | 432,064.4 km | 149,634,010円 | | 1,206,992,440円 | 430,063.6km | | 1,150,132,256円 | 429,910.8km | | 67,766,536円 | 411,568.8km | | 102,658,026円 | 46,975,984円 | 67,335,304円 | 46,975,984円 |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | ソのうち補助ブロック 外乗入部分、同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分及び他 路線との競合部分以 外に係るもの ソ×ラ=ツ | ソのうち補助ブロック 外乗入部分及び同一 補助ブロック都道府 県外乗入部分以外に 係るもの ソ×ブ=ヰツ | 計画平均 乗車密度 が5人未満 の路線 ツ×みなし運行回数 ÷①計画運行回数 =ネ | 補助対象経費 ナ | 計画額 ナ×1/2=ル | 経常費用から 経常収益を 控除した額 ニ×ワ=ヨム | 損失額から国庫補 助額を控除した額 ム=ラ=ウ | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------|------|------|--|---|---|-------------|----------------|------------------------------------|-------------------------------|--------------|-------|------|------|-------|---|--------------|--------|-----------------------|
| | | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」 の 具体的概要 |
| 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | | | | | |
| 羽越 | 第12号 | 無 | 9,055,842円 | 9,055,842円 | 円 | 9,055 千円 | 4,527.5 千円 | 79,767,360円 | 75,239,860円 | 4,527,500円 | 6.0 % | 円 | % | 円 | % | 70,712,360円 | 93.4 % | |
| 東北 | 第12号 | 無 | 14,102,441円 | 14,102,441円 | 円 | 14,102 千円 | 7,051 千円 | 79,767,360円 | 72,716,360円 | 7,051,000円 | 9.6 % | 円 | % | 円 | % | 85,965,360円 | 90.4 % | |
| 合計 | | | 23,158,283円 | 23,158,283円 | 円 | 23,157 千円 | 11,578 千円 | 159,534,720円 | 147,956,220円 | 11,578,500円 | 7.8 % | 円 | % | 円 | % | 136,377,720円 | 92.2 % | |

※令和5年度、6年度については、令和4年度事業から土日・祝日の日数による運行回数の違いを除き、変更がないため省略。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域域間幹線系統用)

事業者名 ジェイアールバス東北株式会社

令和4年
2022

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の 前々年度(基準期間※) の損益状況 | 業 合 バ ス 事 業 | | | | | | | | |
|---------------------------------|----------------|---------|-------|-------|-------|------|-----------|---------|----|
| | 営業収益 | 533,193 | 千円 | 営業外収益 | 8,567 | 千円 | 経常収益(イ) | 541,760 | 千円 |
| | 営業費用 | 984,579 | 千円 | 営業外費用 | 9 | 千円 | 経常費用(ロ) | 984,588 | 千円 |
| 営業損益 | △ 451,386 | 千円 | 営業外損益 | 8,558 | 千円 | 経常損益 | △ 442,828 | 千円 | |
| 補助対象期間の 前々年度の 営業走行キロ(ハ) | 2,369,887.2 km | | | | | | 経常収支率 | 55.02 | % |

| 基 準 期 間 の 前 年 度 の 損 益 状 況 | 業 合 バ ス 事 業 | | | | | | | | |
|---|----------------|-----------|-------|-------|-------|------|-----------|-----------|----|
| | 営業収益 | 750,577 | 千円 | 営業外収益 | 4,332 | 千円 | 経常収益(イ) | 754,909 | 千円 |
| | 営業費用 | 1,083,173 | 千円 | 営業外費用 | 2,101 | 千円 | 経常費用(ロ) | 1,085,274 | 千円 |
| 営業損益 | △ 332,596 | 千円 | 営業外損益 | 2,231 | 千円 | 経常損益 | △ 330,365 | 千円 | |
| 基 準 期 間 の 前 年 度 の 営 業 走 行 キ ロ (ハ) | 2,631,267.0 km | | | | | | 経常収支率 | 69.56 | % |

| 基 準 期 間 の 前 々 年 度 の 損 益 状 況 | 業 合 バ ス 事 業 | | | | | | | | |
|---|----------------|---------|-------|-------|-------|------|-----------|---------|----|
| | 営業収益 | 712,702 | 千円 | 営業外収益 | 4,519 | 千円 | 経常収益(イ) | 717,221 | 千円 |
| | 営業費用 | 989,196 | 千円 | 営業外費用 | 0 | 千円 | 経常費用(ロ) | 989,196 | 千円 |
| 営業損益 | △ 276,494 | 千円 | 営業外損益 | 4,519 | 千円 | 経常損益 | △ 271,975 | 千円 | |
| 基 準 期 間 の 前 々 年 度 の 営 業 走 行 キ ロ (ハ) | 2,555,198.5 km | | | | | | 経常収支率 | 72.51 | % |

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における営業走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常費用(基準期間の前々年度)「コ」×ハ | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常費用(基準期間の前年度)「ロ」×ハ | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常費用(基準期間)「エ」×ハ |
|---------|---------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 羽越 | 387円13銭 | 412円45銭 | 415円45銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間を言う

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常費用(「ロ」×ハ)÷3 | 地域キロ当たり標準経常費用「ホ」 | キロ当たり経常費用「ヘ」 | キロ当たり経常収益「ニ」×ハ |
|---------|--------------------------------|------------------|--------------|----------------|
| 羽越 | 405円01銭 | 352円 03銭 | 352円 03銭 | 228円60銭 |
| 東北 | 405円01銭 | 340円 62銭 | 340円 62銭 | 228円60銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 運行系統名 | 運行系統 | | | 計画運行回数 () ①=カッコ内 | 計画平均乗車密度 ② | 計画輸送量 ③ | 系統キロ程 チ | 地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ | 多系統キロと地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ÷チ=ク | 補助ブロック外乗入部分のキロ程 リ | 同一補助ブロック内乗入部分のキロ程 ヌ | 他路線との競合部分に係るキロ程 ル | 他路線との競合率 ル÷チ | 補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック内乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (「チ-リ+ヌ+ル」)÷チ=ワ | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|---------------|----------------------|--------------------|-------------------------------|---|----------------------|------------------------|----------------------|-----------------|--|--------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|-------|------|-------|---|
| | | | | 起点 | 主な経由地 | 終点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 羽越 | 3 | | 光沢 仙台 | 米沢市役所 | 道の駅米沢 | 仙台駅東口 | 365 | 日 | 1095 | 回 | 9.0 | 27.0 | 人 | 往119.8km 復119.8km | 往119.7km 復22.9km | 22.8km | 19.05 | % | 往96.9km 復96.9km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | 0.0km | 0.0% | 19.05 | % | | |
| 東北 | 13 | | 光沢 仙台 | 米沢市役所 | 道の駅米沢 | 仙台駅東口 | 365 | 日 | 1095 | 回 | 9.0 | 27.0 | 人 | 往119.8km 復119.7km | 往96.9km 復96.9km | 22.8km | 80.95 | % | 往22.7km 復22.9km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | 0.0km | 0.0% | 80.95 | % |
| | | | 無 | | | | | | 0.0 | 回 | 0.0 | 0.0 | 人 | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | % | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | 0.0km | 0.0% | % | | |
| | | | 無 | | | | | | 0.0 | 回 | 0.0 | 0.0 | 人 | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | % | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | 0.0km | 0.0% | % | | |
| 合計 | 系統 | | | | | | | | 往119.8km 復119.8km | 往22.9km 復22.8km | | | 往96.9km 復96.9km | 往96.9km 復96.9km | 往0.0km 復0.0km | | | 往96.9km 復96.9km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 往0.0km 復0.0km | 0.0km | 0.0km | | | | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助対象系統の営業走行キロ | 補助対象事業者の営業走行キロ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|---------------|----------------|------------------|-------------|------------------------------|------------|-----------|------------------------------|---------|-----------|------------------------------|------------|-----------|------------------------------|---------|------------|-----|----------|-----|---------|
| | | | | | 基準期間の前々年度 | | | | | 基準期間の前年度 | | | | | 基準期間 | | | | | | | |
| | | | | | 経常収益「ヤ」 | 営業走行キロ「マ」 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常収益「ヤ」÷「マ」 | 経常収益「ヤ」 | 営業走行キロ「マ」 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常収益「ヤ」÷「マ」 | 経常収益「ヤ」 | 営業走行キロ「マ」 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常収益「ヤ」÷「マ」 | 経常収益「ヤ」 | 営業走行キロ「マ」 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常収益「ヤ」÷「マ」 | | | | | | |
| 羽越 | 3 | | 19.05 % | 262143.0 | 92,282,200 | 円 | 196円51銭 | 56,884,735 | 円 | 261435.0 | km | 216円82銭 | 60,248,719 | 円 | 268205.0 | km | 224円63銭 | 36,156,249 | 円 | 244151.0 | km | 148円08銭 |
| 東北 | 13 | | 80.95 % | 262143.0 | 89,291,148 | 円 | 196円51銭 | 56,884,735 | 円 | 261435.0 | km | 216円82銭 | 60,248,719 | 円 | 268205.0 | km | 224円63銭 | 36,156,249 | 円 | 244151.0 | km | 148円08銭 |
| | | | 無 | 0.0 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | km | 0 | 円 | 0.0 | km | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | km | 0.0 | 円 |
| | | | 無 | 0.0 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | km | 0 | 円 | 0.0 | km | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | km | 0.0 | 円 |
| 合計 | 系統 | | 524286.0 | 181,573,348 | 円 | 113,369,470 | 円 | 52,280.0 | km | 120,497,438 | 円 | 53,641.0 | km | 72,312,498 | 円 | 48,830.0 | km | | | | | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助対象系統の経常収益の見込額 | 補助対象経常費用の見込額 | タ又はシのうちいずれか少ない方の額 | 補助対象事業者の営業走行キロ当たり経常収益 | | | | | 補助対象経費 | 計画額 | |
|---------|------|------|-----------------|--------------|-------------------|-----------------------|-------|------------|-------|------------|--------|----------|---|
| | | | | | | 「ソ」×マ | 「ソ」×マ | 「ソ」×マ | 「ソ」×マ | 「ソ」×マ | | | |
| 羽越 | 3 | | 51,513,720 | 40,768,480 | 41,526,990 | 40,768,480 | 円 | 7,766,295 | 円 | 7,766,295 | 円 | 3,883.0 | 円 |
| 東北 | 13 | | 51,513,720 | 37,777,428 | 40,181,016 | 37,777,428 | 円 | 30,580,828 | 円 | 30,580,828 | 円 | 15,290.0 | 円 |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | 円 |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0 | 円 | 0.0 | 円 |
| 合計 | 系統 | | 103,027,440 | 78,545,908 | 81,708,006 | 78,545,908 | 円 | 38,347,223 | 円 | 38,347,223 | 円 | 19,173.0 | 円 |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 経常費用から経常収益を控除した額 | 損失額から補助額を控除した額 | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|------------------|----------------|--------------|-------|-----|------|-----|------|-----|------|------------|-------|---------|------|--------------|
| | | | | | 都道府県 | | | | | 市区町村 | | | | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の負担割合 |
| | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 羽越 | 3 | | 54,656,816 | 50,773,816 | 3,883,000 | 7.5% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 46,890,816 | 92.3% | | | |
| 東北 | 13 | | 54,656,816 | 39,366,816 | 15,290,000 | 38.8% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 24,076,816 | 61.1% | | | |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | ##### | | |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | ##### | | |
| 合計 | 系統 | | 109,313,632 | 90,140,632 | 19,173,000 | 21.3% | 0 | 0% | 0 | 0% | 0 | 0% | 70,967,632 | 78.7% | | | |

令和5年度の計画については令和4年度と同様となります。また、令和6年度の計画についてはうるう年のため、運行回数が3.0回多いものとなります。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

| | |
|------|---------------|
| 事業者名 | 株式会社 新庄輸送サービス |
|------|---------------|

| |
|------|
| R4年度 |
|------|

1. 申請事業者の概要

| | | 乗合バス事業 | | | | |
|------------------------|---------------|----------|-------|-----|---------|----------|
| 補助対象期間の前々年度(基準期間)の損益状況 | 営業収益 | 79,228千円 | 営業外収益 | 0千円 | 経常収益(イ) | 79,228千円 |
| | 営業費用 | 75,271千円 | 営業外費用 | 0千円 | 経常費用(ロ) | 75,271千円 |
| | 営業損益 | 3,957千円 | 営業外損益 | 0千円 | 経常損益 | 3,957千円 |
| 補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ) | km 256,986 | | | | 経常収支率 | 105.25% |

| | | 乗合バス事業 | | | | |
|---------------------|---------------|----------|-------|-----|----------|----------|
| 基準期間の前年度の損益状況 | 営業収益 | 73,468千円 | 営業外収益 | 0千円 | 経常収益(イ') | 73,468千円 |
| | 営業費用 | 73,175千円 | 営業外費用 | 0千円 | 経常費用(ロ') | 73,175千円 |
| | 営業損益 | 293千円 | 営業外損益 | 0千円 | 経常損益 | 293千円 |
| 基準期間の前年度の実車走行キロ(ハ') | km 238,671 | | | | 経常収支率 | 100.40% |

| | | 乗合バス事業 | | | | |
|-----------------------|---------------|----------|-------|-----|-----------|----------|
| 基準期間の前々年度の損益状況 | 営業収益 | 70,398千円 | 営業外収益 | 0千円 | 経常収益(イ'') | 70,398千円 |
| | 営業費用 | 61,267千円 | 営業外費用 | 0千円 | 経常費用(ロ'') | 61,267千円 |
| | 営業損益 | 9,131千円 | 営業外損益 | 0千円 | 経常損益 | 9,131千円 |
| 基準期間の前々年度の実車走行キロ(ハ'') | km 230,720 | | | | 経常収支率 | 114.90% |

(補助対象事業者の「基準期間」を最終年度とする連続した過去3年間)における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間の前々年度) ロ'÷ハ'=a | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間) ロ÷ハ=c |
|---------|---|--|--------------------------------------|
| 羽越 | 265円 54銭 | 306円 59銭 | 292円 89銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(a+b+c)/3=ニ | 地域キロ当たり標準経常費用ホ | キロ当たり経常費用ニとホのいずれか少ない額ヘ | キロ当たり経常収益イ÷ハ=ト |
|---------|----------------------------------|----------------|------------------------|----------------|
| 羽越 | 288円 34銭 | 352円 03銭 | 288円 34銭 | 308円 29銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特例措置 | 運行系統 | | | 計画運行回数 () ①=カッコ内 | 計画平均乗車密度 ② | 計画輸送量 ①×②=③ | 系統キロ程 | | 地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 | 系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 | 補助ブロック外乗入部分のキロ程 | 同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 | 他路線との競合部分に係るキロ程 | 他路線との競合率 | 補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (チー(リ+ヌ+ル)÷チ=ユ) |
|---------|------|------|---------|----|-------|-------------------------|-----------------|----------------|-------|--------------------|--------------------------|------------------------------------|------------------|-----------------------|------------------|----------|--|
| | | | 運行系統名 | 起点 | 主な経由地 | | | | 終点 | チ | | | | | | | |
| 羽越 | 第16号 | 無 | 県立病院-肘折 | 清水 | 肘折温泉 | 364日 | 2,081回 (5.6) | 2.4 | 13.4人 | 往30.9Km(平均)復30.9Km | 往 . Km(平均)復 . Km | % | 往 . Km(平均)復 . Km | 往 . Km(平均)復 . Km | 往 . Km(平均)復 . Km | % | 100% |
| 合計 | | | 系統 | | | | | | | 往30.9Km復30.9Km | 往 . Km復 . Km | | 往 . Km復 . Km | 往 . Km復 . Km | 往 . Km復 . Km | | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特例措置 | 補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チー(リ+ヌ+ル)÷チ=ユ) | 計画実車走行キロ ワ | 補助対象経常費用の見込額 ヘ×ワ以下の額:カ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | | | | 補助対象経常収益の見込額 ノ×ワ以上の額:コ | 補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カーヨ=タ | 補助対象経費の限度額 カ×9/20=シ | タ又はシのうちいずれか少ないほうの額 ソ | |
|---------|------|------|--|---------------|---------------------------|------------------|------------|-----------------------------|----------|------------|-----------------------------|---------|-------------|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------|-------------|
| | | | | | | 基準期間の前々年度 | | | 基準期間の前年度 | | | 基準期間 | | | | | | | |
| | | | | | | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=ニ | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=ニ | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=ニ | | | | | |
| 羽越 | 第16号 | 無 | 100% | 127,483.2km | 36,758,505円 | 72円.43銭 | 8,027,927円 | 127,173.5km | 63円.12銭 | 9,082,185円 | 126,709.3km | 71円.67銭 | 10,483,028円 | 127,081.5km | 82円.49銭 | 9,233,608円 | 27,524,897円 | 16,541,327円 | 16,541,327円 |
| 合計 | | | | 127,483.2km | 36,758,505円 | | 8,027,927円 | 127,173.5km | | 9,082,185円 | 126,709.3km | | 10,483,028円 | 127,081.5km | | 9,233,608円 | 27,524,897円 | 16,541,327円 | 16,541,327円 |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特例措置 | ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの ソ×ラ=ツ | ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ラ'=ツ' | 計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数÷①計画運行回数=ネ | 補助対象経費 ナ | 計画額 ナ×1/2=ラ | 経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ-ヨ=ム | 損失額から国庫補助額を控除した額 ム-ラ=ウ | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------|------|------|--|--|---|-------------|----------------|-----------------------------|---------------------------|--------------|-------|-------------|-------|-------|------|---------|------|---------------|
| | | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の具体的概要 |
| | | | | | | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 羽越 | 第16号 | 無 | 16,541,327円 | | 7,916,206円 | 7,916千円 | 3,958.0千円 | 27,524,897円 | 23,566,897円 | 3,958,000円 | 16.8% | 19,608,897円 | 83.2% | 円 | % | 円 | % | |
| 合計 | | | 16,541,327円 | | 7,916,206円 | 7,916千円 | 3,958.0千円 | 27,524,897円 | 23,566,897円 | 3,958,000円 | 16.8% | 19,608,897円 | 83.2% | 円 | % | 円 | % | |

令和5年度、令和6年度については、令和4年度事業から 土日・祝日の数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

| | | |
|------|-------------|-----|
| 事業者名 | 有限会社 はながさバス | 4年度 |
|------|-------------|-----|

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※]) の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | |
|--|-----------|----------|---------|---------|----------|
| | 営業収益 | 23,087千円 | 営業外収益 | 4,069千円 | 経常収益(イ) |
| 営業費用 | 36,669千円 | 営業外費用 | 119千円 | 経常費用(ロ) | 36,788千円 |
| 営業損益 | △13,582千円 | 営業外損益 | 3,950千円 | 経常損益 | △9,632千円 |
| 補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 98,107 km | | | 経常収支率 | 73.82% |

| 基準期間の前年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | |
|-------------------------|-----------|----------|---------|----------|-----------|
| | 営業収益 | 22,039千円 | 営業外収益 | 1,755千円 | 経常収益(イ') |
| 営業費用 | 37,345千円 | 営業外費用 | 207千円 | 経常費用(ロ') | 37,552千円 |
| 営業損益 | △15,306千円 | 営業外損益 | 1,548千円 | 経常損益 | △13,758千円 |
| 基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ') | 91,922 km | | | 経常収支率 | 63.36% |

| 基準期間の前々年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | |
|---------------------------|-----------|----------|---------|-----------|-----------|
| | 営業収益 | 15,934千円 | 営業外収益 | 4,707千円 | 経常収益(イ'') |
| 営業費用 | 30,206千円 | 営業外費用 | 299千円 | 経常費用(ロ'') | 30,505千円 |
| 営業損益 | △14,272千円 | 営業外損益 | 4,408千円 | 経常損益 | △9,864千円 |
| 基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'') | 98,800 km | | | 経常収支率 | 67.66% |

(補助対象事業者の「基準期間」を最終年度とする連続した過去3年間)における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ'÷ハ''=a | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ'÷ハ'=b | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c |
|---------|--|--|--|
| 羽越 | 308.75 円 銭 | 408.52 円 銭 | 374.97 円 銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度、前年度、本年度をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = ニ | 地域キロ当たり標準経常費用 ホ | キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ | キロ当たり経常収益 イ÷ハ = ト |
|---------|--|--------------------|--------------------------------|----------------------|
| 羽越 | 364.08 円 銭 | 352.03 円 銭 | 352.03 円 銭 | 276.79 円 銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 運行系統 | | 計画運行回数 () ①=カコ 内 | 計画平均乗車密度 ② | 計画輸送量 ①×② =③ | 系統キロ程 チ | 地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ | 系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 オ÷チ=ク | 補助ブロック外乗入部分のキロ程 リ | 同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 ヌ | 他路線との競合部分に係るキロ程 ル | 他路線との競合率 ル÷チ | 補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (チ-(リ+ヌ+ル))÷チ=マ |
|---------|------|------|------|-------------|----------------------------|---------------|--------------------|---------------------------|-------------------------------|---|-----------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------|--|
| | | | 起点 | 主な経由地 | | | | | | | | | | | |
| 羽越 | 17 | 3 | 鶴山線 | 大石 尾花 鶴山 湯島 | 365 | 5.3 | 34.9 人 | 往 18.9Km (平均) 復 18.9Km | 往 . Km (平均) 復 . Km | % % | 往 . Km (平均) 復 . Km | 往 . Km (平均) 復 . Km | 往 . Km (平均) 復 . Km | % % | 100% |
| | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | % |
| | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | % |
| | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | % |
| 合計 | | | 系統 | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % % | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チ-(リ+ヌ+ル))÷チ=マ | 計画実車走行キロ ワ | 補助対象経常費用の見込額 ヘ×ワ以下の額:カ (d+e+f)/3 = ノ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | 補助対象経常収益の見込額 ノ×ワ以上の額:コ | 補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カ-コ=タ | 補助対象経費の限度額 カ×9/20=レ | タ又はレのうちいずれか少ないほうの額 ソ | | | |
|---------|------|------|--|---------------|--|------------------|--------------|------------|--------------|-------------|-------------|---------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------------------|---------------------------------|--------------|-------------|
| | | | | | | 基準期間の前々年度 | | 基準期間の前年度 | | 基準期間 | | | | | | | | |
| | | | | | | 経常収益 ヤ' | 実車走行キロ マ' | 経常収益 ヤ' | 実車走行キロ マ' | 経常収益 ヤ | 実車走行キロ マ | | | | | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益 ヤ'÷マ'=d | 経常収益 ヤ | 実車走行キロ マ |
| 羽越 | 17 | 3 | 91,891.8 km | 32,348,670 円 | 248.18 | 20,641,000 円 | 98,800 . km | 208.91 | 23,794,000 円 | 91,922 . km | 258.84 | 27,156,000 円 | 98,107 . km | 276.79 | 22,805,706 円 | 9,542,964 円 | 14,556,901 円 | 9,542,964 円 |
| | | | % | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | | % | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | | % | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 銭 | . km | 円 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 合計 | | | | . km | 円 | 円 | . km | 円 | 円 | . km | 円 | 円 | . km | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの ソ×ラ=ツ | ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×デ=ヅ' | 計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数÷①計画運行回数=ネ | 補助対象経費 ナ | 計画額 ナ×1/2=ラ | 経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワ-ヨ=ム | 損失額から国庫補助額を控除した額 ム-ラ=ウ | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------|------|------|--|---|---|-------------|----------------|-----------------------------|---------------------------|--------------|------|------|------|-------|------|-------------|------|---|
| | | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | |
| | | | | | | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| | 17 | 3 | 9,542,964 円 | 0 円 | 円 | 9,542 千円 | 4,771.0 千円 | 10,650,261 円 | 5,879,261 円 | 4,771,000 円 | 80 % | 円 | % | 円 | % | 1,108,261 円 | 20 % | % |
| | | | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | % |
| | | | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | % |
| | | | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | % |
| 合計 | | | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | % |

令和5年度、令和6年度については、令和4年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

| | |
|------|-----------------|
| 事業者名 | 山形県地域公共交通活性化協議会 |
|------|-----------------|

R4年度

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|--|-----------|----|-------|----|---------|---------|
| | 営業収益 | 千円 | 営業外収益 | 千円 | 経常収益(イ) | 千円 |
| | 営業費用 | 千円 | 営業外費用 | 千円 | 経常費用(ロ) | 千円 |
| | 営業損益 | 千円 | 営業外損益 | 千円 | 経常損益 | 千円 |
| 補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 2,600,250 | km | | | 経常収支率 | 56.41 % |

| 基準期間の前年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|------------------------|-----------|----|-------|----|---------|---------|
| | 営業収益 | 千円 | 営業外収益 | 千円 | 経常収益(イ) | 千円 |
| | 営業費用 | 千円 | 営業外費用 | 千円 | 経常費用(ロ) | 千円 |
| | 営業損益 | 千円 | 営業外損益 | 千円 | 経常損益 | 千円 |
| 基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ) | 2,642,598 | km | | | 経常収支率 | 68.22 % |

| 基準期間の前々年度の 損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | |
|-------------------------|-----------|----|-------|----|---------|---------|
| | 営業収益 | 千円 | 営業外収益 | 千円 | 経常収益(イ) | 千円 |
| | 営業費用 | 千円 | 営業外費用 | 千円 | 経常費用(ロ) | 千円 |
| | 営業損益 | 千円 | 営業外損益 | 千円 | 経常損益 | 千円 |
| 基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ) | 2,652,286 | km | | | 経常収支率 | 68.24 % |

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) ロ÷ハ=a | 補助対象事業者の実車走行キロ 当たり経常費用 (基準期間の前年度) ロ÷ハ=b | 補助対象事業者の実車走行キロ 当たり経常費用 (基準期間) ロ÷ハ=c |
|---------|---|--|--|
| 羽越 | 312円22銭 | 318円01銭 | 326円93銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3=ニ | 地域キロ当たり 標準経常費用 ホ | キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ | キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト |
|---------|--------------------------------------|------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 羽越 | 324円08銭 | 352円03銭 | 324円08銭 | 184円40銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 運行系統名 | 運行系統 | | | 計画運行 回数 () | 計画平均乗車 密度 ② | 計画 輸送量 ①×② =③ | 系統キロ程 チ | 地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ程 オ | 系統キロ程と地域公共交通再編事業 を実施する区域におけるキロ程との比 オ÷チ=ク | 補助ブロック外 乗入部分のキロ程 リ | 同一補助ブロック 都道府県外乗入 部分のキロ程 ヌ | 他路線との競合 部分に係るキロ程 ル | 他路線との競合 率 ル÷チ | 補助ブロック 外乗入部分 同一補助ブ ロック都道府 県外乗入部分 及び他路線と の競合部分以 外のキロ程の 比率 (チ-(リ+ヌ +ル))÷チ= ワ | | | | |
|---------|------|------|-----------|-----------------|-----------|----------------------|-------------------|-------------------|------------------------|------------|-----------------------------------|--|--------------------------|------------------------------------|--------------------------|--------------------------|---|------------------|------------------|------------------|------|
| | | | | 起点 | 主な 経由地 | 終点 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 羽越 | 18 | 3 | 山形(月山口)鶴岡 | 山交ビル バスターミナル | 月山口 | エスモール バスターミナ ル | 365 | 1460 (4.0) | 回 | 10.3 | 41.2 | 往 105.8Km 復 104.8Km | (平均) 往 . Km 復 . Km | 105.2Km | 往 . Km 復 . Km | (平均) 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 100% |
| | | | | | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % | |
| | | | | | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % | |
| | | | | | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % | |
| 合計 | | | 系統 | | | | | | | | | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | % | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助ブロック外乗入部分及び同一補助 ブロック都道府県外乗入部分以外の キロ程の比率 (チ-(リ+ヌ)+チ=ワ) | 計画実車走行キロ ワ | 補助対象 経常費用の 受込額 ヘ×ワ以下の額:カ | 計画運行 回数 (d+e+f)/3=ノ | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | 補助対象 経常収益の 受込額 ノ×ワ以上の額:コ | 補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カ-ヨ=タ | 補助対象経費 の限度額 カ×9/20=レ | タ又はレのうちいずれ か少ないほうの額 ソ | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|--|---------------|-----------------------------------|---------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|---|------------------------|-----------------------------------|---|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|---|------------|---|-----------|----|--------|------------|---|------------|---|------------|---|------------|---|
| | | | | | | | 基準期間の前々年度 | | 基準期間の前年度 | | 基準期間 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 経常収益 ヤ ^a | 実車走行 キロマ ^a | 経常収益 ヤ ^b | 実車走行 キロマ ^b | 補助対象 系統の実車 走行キロ当 たり経常 収益 ヤ ^c ÷マ ^c = e | 経常収益 ヤ ^c | | | | | 実車走行 キロマ ^c | 補助対象 系統の実車 走行キロ当 たり経常 収益 ヤ ^c ÷マ ^c = f | | | | | | | | | | | | | |
| 羽越 | 18 | 3 | % | 229,804.0 | . km | 74,474,880 | 円 | 199.03 | 66,968,065 | 円 | 306,267.8 | km | 218.65 | 66,819,772 | 円 | 306,162.0 | km | 218.24 | 42,047,440 | 円 | 270,668.6 | km | 155.34 | 45,737,890 | 円 | 28,736,990 | 円 | 33,513,696 | 円 | 28,736,990 | 円 |
| | | | % | . km | 円 | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | | | % | . km | 円 | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| 合計 | | | % | . km | 円 | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | . km | 円 | 銭 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | ソ×ラ=ツ | ソ×ワ=ヰ | ツ×ミなし運行回数 ノ①計画運行回数 ホ×ホ | 補助対象経費 ナ | 計画額 ナ×1/2=ラ | 経常費用から 経常収益を 控除した額 ニ×ワ-ヨ=ム | 損失額から国庫補 助額を控除した額 ム-ラ=ウ | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|------|------------|-------|------------------------------|-------------|----------------|-------------------------------------|-------------------------------|--------------|------------|------|------------|-------|------------|---------|------|------------------------|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」 の具体的な 概要 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | | | | | | | | | | | |
| 羽越 | 18 | 3 | 28,736,990 | 円 | 0 | 円 | 28,736 | 千円 | 14,368.0 | 千円 | 28,736,990 | 円 | 14,368,990 | 円 | 14,368,000 | 円 | 100 | % | 円 | % | 円 | % | 990 | 円 | % | | | |
| | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 合計 | | | 円 | 円 | 円 | 円 | 千円 | 千円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

令和5年度、令和6年度については、令和4年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

| | |
|------|----------|
| 事業者名 | 庄内交通株式会社 |
|------|----------|

1. 申請事業者の概要

| 補助対象期間の前々年度(基準期間※)の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | |
|-------------------------|----------------|-----------|-------------|---------|---------|-----------|-------------|
| | 営業収益 | 176,289千円 | 営業外収益 | 3,381千円 | 経常収益(イ) | 179,670千円 | |
| | 営業費用 | 460,537千円 | 営業外費用 | 926千円 | 経常費用(ロ) | 461,463千円 | |
| 補助対象期間の前々年度の実車走行キロ(ハ) | 1,316,021.0 km | 営業損益 | △ 284,248千円 | 営業外損益 | 2,455千円 | 経常損益 | △ 281,793千円 |
| | | | | | | 経常収支率 | 38.93% |

| 基準期間の前年度の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | |
|---------------------|----------------|-----------|-------------|---------|---------|-----------|-------------|
| | 営業収益 | 216,230千円 | 営業外収益 | 2,122千円 | 経常収益(イ) | 218,352千円 | |
| | 営業費用 | 472,942千円 | 営業外費用 | 1,135千円 | 経常費用(ロ) | 474,077千円 | |
| 基準期間の前年度の実車走行キロ(ハ') | 1,412,854.2 km | 営業損益 | △ 256,712千円 | 営業外損益 | 987千円 | 経常損益 | △ 255,725千円 |
| | | | | | | 経常収支率 | 46.06% |

| 基準期間の前々年度の損益状況 | 乗合バス事業 | | | | | | |
|-----------------------|----------------|-----------|-------------|---------|----------|-----------|-------------|
| | 営業収益 | 200,958千円 | 営業外収益 | 3,274千円 | 経常収益(イ') | 204,232千円 | |
| | 営業費用 | 444,136千円 | 営業外費用 | 2,664千円 | 経常費用(ロ') | 446,800千円 | |
| 基準期間の前々年度の実車走行キロ(ハ'') | 1,407,519.5 km | 営業損益 | △ 243,178千円 | 営業外損益 | 610千円 | 経常損益 | △ 242,568千円 |
| | | | | | | 経常収支率 | 45.71% |

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間の前々年度) $\frac{ロ'+ハ''}{a}$ | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間の前年度) $\frac{ロ'+ハ'}{b}$ | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用(基準期間) $\frac{ロ'+ハ}{c}$ |
|---------|---|---|--|
| 羽越 | 317円 43銭 | 335円 54銭 | 350円 65銭 |

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び経常収益

| 補助ブロック名 | 補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 $\frac{a+b+c}{3} = \text{ニ}$ | 地域キロ当たり標準経常費用ホ | キロ当たり経常費用ニとホのいずれか少ない額へ | キロ当たり経常収益イ÷ハト |
|---------|--|----------------|------------------------|---------------|
| 羽越 | 334円 54銭 | 352円 03銭 | 334円 54銭 | 136円 52銭 |

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 運行系統 | | | 計画運行回数() ①=カコ内 | 計画平均乗車密度 ② | 計画輸送量 ①×②=③ | 系統キロ程 | | 地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 | 系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 | 補助ブロック外乗入部分のキロ程 | | 同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 | 他路線との競合部分に係るキロ程 | 他路線との競合率 | 補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 | |
|---------|------|------|----------------|----------|---------------|--------------------|---------------|----------------|-------|-------|--------------------------|------------------------------------|-----------------------|--------|-----------------------|-----------------------|------------------|---|----|
| | | | 起点 | 主な経由地 | 終点 | | | | テ | オ | | | オ÷チ=ク | リ | | | | | ヌ |
| 羽越 | 19 | 3 | 鶴岡三川 | 外内島 | イオンモール三川 | 365 | 日 | 2,420回 | 3.7 | 24.4人 | 往19.1km (平均) 復19.1km | 19.1km | 往 . Km (平均) 復 . Km | 0% | 往 . Km (平均) 復 . Km | 往 . Km (平均) 復 . Km | 0% | 100% | |
| | 20 | 3 | 三川酒田 | イオンモール三川 | 日本通商陸-イオン酒田酒田 | 365 | 日 | 2,295回 | 3.4 | 21.0人 | 往19.3km 復19.8km | 19.5km | 往 . Km 復 . Km | 0% | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 0% | 100% | |
| | 21 | 3 | 鶴岡ゆほいかいでは文化記念館 | イオンモール | ゆほいかいでは文化記念館 | 365 | 日 | 3,284回 | 3.0 | 26.7人 | 往18.0km 復17.7km | 17.8km | 往18.0Km 復17.7Km | 17.8km | 100% | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 往 . Km 復 . Km | 0% |
| 合計 | | 系統 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | 補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チー(リ+ヌ))÷チ=ラ | 計画乗車走行キロ | 補助対象経常費用の見込額 | 補助対象系統のキロ当たり経常収益 | | | | | | | | | 補助対象経常収益の見込額 | 補助対象経常収益を控除した額 | 補助対象経常費用の限度額 | タ又はしのうちいずれか少ないほうの額 |
|---------|------|------|--|-------------|--------------|------------------|---------|-----------------------------|----------|---------|-----------------------------|---------|-------------|-----------------------------|--------------|----------------|--------------|--------------------|
| | | | | | | 基準期間の前々年度 | | | 基準期間の前年度 | | | 基準期間 | | | | | | |
| | | | | | | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=d | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=e | 経常収益ヤ | 実車走行キロマ | 補助対象系統の実車走行キロ当たり経常収益ヤ'÷マ'=f | | | | |
| 羽越 | 19 | 3 | % | 92,444.0km | 30,926,215円 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 17,009,418円 | 13,916,797円 | 13,916,796円 | 13,916,796円 | | |
| | 20 | 3 | % | 90,118.5km | 30,148,242円 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 16,581,533円 | 13,566,709円 | 13,566,708円 | 13,566,708円 | | |
| | 21 | 3 | % | 117,314.7km | 39,246,459円 | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | 21,585,552円 | 17,660,907円 | 17,660,906円 | 17,660,906円 | | |
| 合計 | | | | 298,877.2km | 100,320,916円 | | | | | | | | 55,176,503円 | 45,144,413円 | 45,144,410円 | 45,144,410円 | | |

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 特別措置 | ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの | ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの | 計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数÷①計画運行回数=ニ | 補助対象経常費用 | 計画額 | 経常費用から経常収益を控除した額 | 損失額から国庫補助額を控除した額 | ウの負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------|------|------|---|---|---|----------|-----------|------------------|------------------|--------------|--------|------|------|-------|------|---------|------|----------------|
| | | | | | | | | | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の具体的な概要 |
| | | | | | | | | | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 羽越 | 19 | 3 | 13,916,796円 | 円 | | 13,916千円 | 6,958.0千円 | 13,916,797円 | 6,958,797円 | 6,958,000円 | 100.0% | 円 | % | 円 | % | 797円 | 0.0% | |
| | 20 | 3 | 13,566,708円 | 円 | | 13,566千円 | 6,783.0千円 | 13,566,709円 | 6,783,709円 | 6,783,000円 | 100.0% | 円 | % | 円 | % | 709円 | 0.0% | |
| | 21 | 3 | 17,660,906円 | 円 | | 17,660千円 | 8,830.0千円 | 17,660,907円 | 8,830,907円 | 8,830,000円 | 100.0% | 円 | % | 円 | % | 907円 | 0.0% | |
| 合計 | | | 45,144,410円 | 円 | | 45,142千円 | 22,571千円 | 45,144,413円 | 22,573,413円 | 22,571,000円 | 100.0% | 円 | % | 円 | % | 2,413円 | 0.0% | |

表2(参考) 同一の補助系統として取り扱うことを県協議会が認める系統の一覧(令和4年度~6年度共通)

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|-----------|-----|-------------------------|------------------|------|----|---|----|------------|---------|---------|--------------------------|--------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 3 (山交) | ○ | 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷) 高松葉山 | 21.1 | | 4 | 4 | 4 | 3.9 | 1,854.0 | 101,790 | | |
| | | | 21.0 | 21.0 | 4 | 4 | 4 | | | | | |
| | | 県立中央病院(表蔵王) 高松葉山 | 21.5 | | 3 | 2 | 2 | 2.6 | 1,880.0 | 102,000 | 3.8 | 18.09% |
| | | | 21.4 | 21.4 | 3 | 2 | 2 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 6.6 | 3,734.0 | 203,790 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 49.60 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|-----------|-----|--------------|------------------|------|----|---|----|------------|--------|-------|--------------------------|--------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 8 (山交) | ○ | 天童~寒河江 | 17.2 | | 5 | 5 | 0 | 3.5 | 17.2 | 300 | | |
| | | | 17.2 | 17.2 | 4 | 4 | 0 | | | | | |
| | | 天童南駅~寒河江市立病院 | 17.3 | | 2 | 1 | 0 | 1.4 | 17.3 | 300 | 2.92 | 16.97% |
| | | | 17.3 | 17.3 | 2 | 1 | 0 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 5.0 | 34.5 | 600 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 15.80 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|------------|-----|--------------|------------------|------|----|----|----|------------|---------|---------|--------------------------|--------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 11 (山交) | ○ | 山交ビル(漆山)天童温泉 | 18.0 | | 14 | 9 | 9 | 12.1 | 1,062.0 | 61,950 | | |
| | | | 17.1 | 17.5 | 13 | 10 | 10 | | | | | |
| | | 山交ビル(長岡)天童温泉 | 17.7 | | 11 | 10 | 10 | 10.8 | 1,143.9 | 69,100 | 3.3 | 18.85% |
| | | | 16.8 | 17.2 | 12 | 9 | 9 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 22.9 | 2,205.9 | 131,050 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 54.00 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|------------|--------------|-------------|------------------|------|----|---|-----|------------|---------|--------|--------------------------|-------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 15 (山交) | ○ | 県立病院~金山 | 17.5 | | 9 | 5 | 5 | 7.6 | 747.2 | 26,490 | | |
| | | | 17.5 | 17.5 | 9 | 5 | 5 | | | | | |
| | | 県立病院(上台中)金山 | 17.8 | | 1 | 0 | 0 | 0.3 | 756.0 | 26,490 | 0.5 | 2.85% |
| | | | — | 17.8 | — | — | — | | | | | |
| | 県立病院(最上公園)金山 | — | | 1 | 0 | 0 | 1.1 | 748.8 | 26,490 | 1.4 | 8.00% | |
| | | 17.5 | 17.5 | 2 | 1 | 1 | | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 9.1 | 2,252.0 | 79,470 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 32.07 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|--------------------------|-----|---------------|------------------|------|----|---|----|------------|---------|---------|--------------------------|-------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 16 (新庄輸 送サー ビス) | ○ | 県立病院~肘折 | 30.9 | | 7 | 4 | 4 | 5.3 | 3,488.6 | 85,000 | | |
| | | | 30.9 | 30.9 | 5 | 4 | 4 | | | | | |
| | | 県立病院~肘折(温泉川向) | — | | — | — | — | 0.3 | 3,104.2 | 75,900 | 1.3 | 4.20% |
| | | | 31.6 | 31.6 | 1 | 0 | 0 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 5.6 | 6,592.8 | 160,900 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 22.59 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 ^{千円} | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 ^{千円} | |
|------------|-----|-----------------|------------------|------|----|---|----|------------|---------|--------|--------------------------|--------|
| | | | 千円 | 千円 | | | | | 千円総和 | 運賃総和 | 相違 ^{千円} | 千円比率 |
| 20 (庄交) | ○ | 三川(日本海病院)酒田 | 19.3 | | 7 | 3 | 3 | 5.9 | 673.6 | 39,400 | | |
| | | | 19.8 | 19.5 | 8 | 3 | 3 | | | | | |
| | | 三川(日本海病院)酒田光陵高校 | 20.9 | | 1 | — | — | 0.5 | 758.8 | 44,740 | 2.7 | 13.84% |
| | | | 21.4 | 21.1 | 0 | 0 | 0 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 6.2 | 1,432.4 | 84,140 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 53.40 | | |

表2(参考) 同一の補助系統として取り扱うことを県協議会が認める系統の一覧(令和4年~令和6年度)

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 [※] | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 [※] | |
|-------------|-----|---------------|-----------------|-------|----|---|----|------------|---------|---------|-------------------------|-----------------|
| | | | 〇 | △ | | | | | 〇 | △ | 相違 [※] | 比率 [※] |
| 19 (山交分) | ○ | 山形(月山口)鶴岡 | 105.8 | | 2 | 2 | 2 | 2.0 | 1,787.0 | 55,520 | 0 | 0.00% |
| | | | 104.6 | 105.2 | 2 | 2 | 2 | | | | | |
| | | 山形(月山口・湯殿山)鶴岡 | 105.8 | | 2 | 2 | 2 | 2.0 | 2,162.6 | 69,520 | 0 | 0.00% |
| | | | 104.6 | 105.2 | 2 | 2 | 2 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 22.9 | 3,949.6 | 125,040 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 28.77 | | |

| 番号 | 主系統 | 系統名 | 系統 [※] | | 平日 | 土 | 日祝 | 運 行 回 数 | | | 主系統との異なる区間 [※] | |
|-------------|-----|---------------|-----------------|-------|-----|-----|-----|------------|---------|---------|-------------------------|-----------------|
| | | | 〇 | △ | | | | | 〇 | △ | 相違 [※] | 比率 [※] |
| 19 (庄交分) | ○ | 鶴岡(月山口)山形 | 104.8 | | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 1,456.4 | 44,100 | 0 | 0.00% |
| | | | 105.8 | 105.3 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | | | | | |
| | | 鶴岡~山形 | 103.0 | | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 1,814.0 | 57,220 | 1.8 | 1.70% |
| | | | 104.0 | 103.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | | | | | |
| | | 鶴岡(月山口・湯殿山)山形 | 104.8 | | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 1,787.0 | 55,520 | 0 | 0.00% |
| | | | 105.8 | 105.3 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | | | | | |
| | | 鶴岡(湯殿山)山形 | 103.0 | | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 2,162.6 | 69,520 | 1.8 | 1.70% |
| | | | 104.0 | 103.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | | | | | |
| 統 合 | | | | | | | | 2.0 | 7,220.0 | 226,360 | | |
| | | | | | | | | | 賃率(税抜) | 28.50 | | |

表3 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

| | | | | 都道府県名 山形県 | |
|----|---------------------|---|------|-----------|--|
| 番号 | 系統名 | 理 由 | 運行回数 | | |
| | | | 土曜 | 日曜祝日 | |
| 10 | 山交ビル(県立中央病院・高掬)天童温泉 | 山形市内および天童市内への通勤や通学、県立中央病院への通院が主な利用目的の為、土日祝日の利用が見込めないことから、土日祝日は運休しております。 | 0.0 | 0.0 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

(記載要領)

- ・「番号」の欄には、今年度補助を受けようとする系統の一連番号から抽出して記載
- ・「系統名」の欄は、「番号」の欄に対応した系統を記載
- ・「理由」の欄は、生活交通の確保に支障がないとした理由を記載

表4 別表1及び別表3の補助事業の基準に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

| 都道府県名 | 広域行政圏名 | 市町村名 | 指定の理由 |
|-------|-----------|------|--|
| 山形県 | 山形連携中枢都市圏 | 尾花沢市 | 尾花沢市には、県立北村山高等学校が設置され、広域行政圏の中心に準ずる生活基盤が整備されているため |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

表6 車両の取得計画の概要

| 都道府県 (市区町村) | バス事業者等名 | 補助対象車両数 | 車両減価償却費等に要する国庫補助額(千円) |
|--------------------|----------|---------|-----------------------|
| 山形県 (令和4年度) | 山交バス株式会社 | 19 | 25,718 |
| | 庄内交通株式会社 | 1 | 1,549 |
| | 計 | 20 | 27,267 |
| 山形県 (令和5年度) | 山交バス株式会社 | 17 | 21,496 |
| | 庄内交通株式会社 | 1 | 1,530 |
| | 計 | 18 | 23,026 |
| 山形県 (令和6年度) | 山交バス株式会社 | 15 | 21,646 |
| | 庄内交通株式会社 | 1 | 1,511 |
| | 計 | 16 | 23,157 |

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 山交バス株式会社

1. 車両取得の概要

| 初年度(令和4年度) | | | | | | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|----------------|----------|--------|---------|----------|---------|-------------------|-----|
| 補助プロジェクト名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種類 | | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(税金、罰金、リース) | |
| 羽越 | 4-1 | 寒河江(松川・左沢)宮宿山交ビル→寒河江駅前 | 5・7 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 4 . 1 | リース |
| 羽越 | 4-2 | 天童(東根市役所)北町山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 9・2 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 4 . 1 | リース |
| 羽越 | 4-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松葉山山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 4 . 1 | リース |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定率法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) ヘ×(0.5×0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ヲ×7÷12(月)=カ | 計画額(千円) | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-------|-----|---------------|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-------------------|
| | 車両価格 | 付属品価格 | 改造費 | 合計 イ+ロ+ハ=ニ | | | | | | | | | | | |
| | イ | ロ | ハ | ニ | ホ | ヘ | ト | チ | リ | ル | ス | ワ | カ | ケ | ク |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | | | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) ヘ×(0.5×0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ヲ×7÷12(月)=カ | 計画額(千円) | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-----------|-----|---------------|---------------------------|-------------------|--|----------|-----------|------------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-------------------|
| | 車両価格 | 付属品価格 | 改造費 | 合計 イ+ロ+ハ=ニ | | | | | | | | | | | |
| 4-1 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 4-2 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 4-3 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 計 | 50,760,000 | 3,291,000 | 0 | 54,051,000 | 54,050,997 | 45,000,000 | 9,000,000 | | 9,000,000 | 11,901,960 | 9,000,000 | | 6,750 | 3,375 | 38,250,000 |

【車両購入金融費用】
事業者の返済方法(元利均等の元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | しと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|--------------|---------|---------------|-------------------|----------|---------|
| 4-1 | 15,000,000 | 12 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 4-2 | 15,000,000 | 12 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 4-3 | 15,000,000 | 12 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 計 | 45,000,000 | | | | 163 千円 | 81 |

【所要経費】

| | |
|------------|---------|
| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
| 6,913 | 3,456 |

【負担者とその負担割合】

| 補助プロジェクト名 | 負担者とその負担割合 | | | | | |
|---------------|---------------|-------|------|-------------|-------------|-------|
| | 都道府県 | | 市区町村 | | 事業者自己負担 | |
| 羽越 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 |
| | 1 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% |
| | 2 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% |
| 3 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% | |
| 合計 | 3,456,600 円 | 40.2% | 円 | % | 5,152,434 円 | 59.8% |

2年目以降 令和 4 年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助会申請番号 | |
|---------|------|--|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 前年度 |
| 羽越 | 29-1 | 山交ビル～寒河江駅前 寒河江～谷地 | 6・7 | 7・8 |
| 羽越 | 29-2 | 天童～北町 山交ビル(荒谷・石倉)天童温泉 | 2・9 | 9・2 |
| 羽越 | 29-3 | 県立中央病院(奥蔵王・四ツ谷)高松葉山 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | 4・5 |
| 羽越 | 29-4 | 県立中央病院(奥蔵王・四ツ谷)高松葉山 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | 4・5 |
| 羽越 | 29-5 | 山交ビル(荒谷・石倉)天童温泉 天童～北町 | 2・9 | 2・3 |
| 羽越 | 30-1 | 寒河江駅前(松川・左沢)宮宿 寒河江～谷地 | 5・6 | 7・8 |
| 羽越 | 30-2 | 山交ビル～寒河江駅前 寒河江～谷地 | 6・7 | 2・3 |
| 羽越 | 30-3 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長閑)天童 | 11 | 11 |
| 羽越 | 30-4 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長閑)天童 | 11 | 11 |
| 羽越 | 30-5 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長閑)天童 | 11 | 9 |
| 羽越 | 2-1 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-2 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-3 | 山交ビル(徳山)天童温泉 山交ビル(長閑)天童温泉 | 11 | 11 |
| 羽越 | 3-1 | 県立中央病院(奥蔵王・四ツ谷)高松葉山 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | 3・4 |
| 羽越 | 3-2 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |
| 羽越 | 3-3 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) | 残存価額(円) | 普通償却限度額(円) | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | ノとオのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 | 計画額(千円) | *残存価額(円) |
|------|------------|----------------|--------------------------------|----------|----------|-----------|-----------------|---------|--------------------------|---------|----------|
| | 初年度への額=ナ | 前年度(2年目のみ)の額=ウ | ウ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ナ×0.2=ム | ウ | ム+ウ=ノ | オ | ク | ヤ | ク×ヤ÷12(月)×マ (最終年度)ク=マ | マ×1/2=ケ | ラ=マ-フ |
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 千円 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) | 残存価額(円) | 普通償却限度額(円) | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | ノとオのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 | 計画額(千円) | *残存価額(円) |
|------|-------------|------------|------------|----------|------------|------------|-----------------|---------|------------|---------|------------|
| 29-1 | 15,000,000 | 2,250,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,800 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000円 | 1,125.0 | 0 |
| 29-2 | 15,000,000 | 2,250,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,800 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000円 | 1,125.0 | 0 |
| 29-3 | 15,000,000 | 2,250,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,800 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000円 | 1,125.0 | 0 |
| 29-4 | 15,000,000 | 2,250,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,800 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000円 | 1,125.0 | 0 |
| 29-5 | 15,000,000 | 2,250,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,800 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000円 | 1,125.0 | 0 |
| 30-1 | 15,000,000 | 4,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 1,750,000 |
| 30-2 | 15,000,000 | 4,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 1,750,000 |
| 30-3 | 15,000,000 | 4,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 1,750,000 |
| 30-4 | 15,000,000 | 4,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 1,750,000 |
| 30-5 | 15,000,000 | 4,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 1,750,000 |
| 2-1 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 2-2 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 2-3 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 3-1 | 15,000,000 | 12,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,951,600 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,000,000 |
| 3-2 | 15,000,000 | 12,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,951,600 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,000,000 |
| 3-3 | 15,000,000 | 12,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,951,600 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,000,000 |
| 計 | 240,000,000 | 98,000,000 | 48,000,000 | | 48,000,000 | 63,934,800 | | | 44,250千円 | 22,125 | 53,750,000 |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 | Eと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|--------------|---------|---------|-----|---------------|-------------------|----------|---------|
| | | | (自) | (至) | | | | |
| 29-1 | 15,000,000 | 9 | 52 | 60 | 0.29% | 0.29% | 2,592 円 | 1.2 |
| 29-2 | 15,000,000 | 9 | 52 | 60 | 0.29% | 0.29% | 2,592 円 | 1.2 |
| 29-3 | 15,000,000 | 9 | 52 | 60 | 0.29% | 0.29% | 2,592 円 | 1.2 |
| 29-4 | 15,000,000 | 9 | 52 | 60 | 0.29% | 0.29% | 2,592 円 | 1.2 |
| 29-5 | 15,000,000 | 9 | 52 | 60 | 0.29% | 0.29% | 2,592 円 | 1.2 |
| 30-1 | 15,000,000 | 12 | 42 | 53 | 0.28% | 0.28% | 9,566 円 | 4.7 |
| 30-2 | 15,000,000 | 12 | 42 | 53 | 0.28% | 0.28% | 9,566 円 | 4.7 |
| 30-3 | 15,000,000 | 12 | 42 | 53 | 0.28% | 0.28% | 9,566 円 | 4.7 |
| 30-4 | 15,000,000 | 12 | 42 | 53 | 0.28% | 0.28% | 9,566 円 | 4.7 |
| 30-5 | 15,000,000 | 12 | 42 | 53 | 0.28% | 0.28% | 9,566 円 | 4.7 |
| 2-1 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.4218% | 0.4218% | 32,280 円 | 16.1 |
| 2-2 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.4218% | 0.4218% | 32,280 円 | 16.1 |
| 2-3 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.4218% | 0.4218% | 32,280 円 | 16.1 |
| 3-1 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.3762% | 0.3762% | 40,075 円 | 20.0 |
| 3-2 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.3762% | 0.3762% | 40,075 円 | 20.0 |
| 3-3 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.3762% | 0.3762% | 40,075 円 | 20.0 |
| 計 | 195,000,000 | | | | | | 277 千円 | 137 |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| マ+ア | ケ+カ |
| 44,527 | 22,262 |

【負担者とその負担割合】

| 補助 区分 申請 種号 名称 | 負担者とその負担割合 | | | | | | | | | |
|----------------------------|--------------|-------|------|------|-------|------|--------------|-------|------------------|------|
| | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の 負担割合 | |
| | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 |
| 29-1 | 1,126,200 円 | 39.1% | 円 | % | 円 | % | 1,750,992 円 | 60.9% | | |
| 29-2 | 1,126,200 円 | 39.1% | 円 | % | 円 | % | 1,750,992 円 | 60.9% | | |
| 29-3 | 1,126,200 円 | 39.1% | 円 | % | 円 | % | 1,750,992 円 | 60.9% | | |
| 29-4 | 1,126,200 円 | 39.1% | 円 | % | 円 | % | 1,750,992 円 | 60.9% | | |
| 29-5 | 1,126,200 円 | 39.1% | 円 | % | 円 | % | 1,750,992 円 | 60.9% | | |
| 30-1 | 1,504,700 円 | 59.3% | 円 | % | 円 | % | 1,032,166 円 | 40.7% | | |
| 30-2 | 1,504,700 円 | 59.3% | 円 | % | 円 | % | 1,032,166 円 | 40.7% | | |
| 30-3 | 1,504,700 円 | 59.3% | 円 | % | 円 | % | 1,032,166 円 | 40.7% | | |
| 30-4 | 1,504,700 円 | 59.3% | 円 | % | 円 | % | 1,032,166 円 | 40.7% | | |
| 30-5 | 1,504,700 円 | 59.3% | 円 | % | 円 | % | 1,032,166 円 | 40.7% | | |
| 2-1 | 1,516,100 円 | 60.9% | 円 | % | 円 | % | 972,080 円 | 39.1% | | |
| 2-2 | 1,516,100 円 | 60.9% | 円 | % | 円 | % | 972,080 円 | 39.1% | | |
| 2-3 | 1,516,100 円 | 60.9% | 円 | % | 円 | % | 972,080 円 | 39.1% | | |
| 3-1 | 1,520,000 円 | 61.5% | 円 | % | 円 | % | 951,675 円 | 38.5% | | |
| 3-2 | 1,520,000 円 | 61.5% | 円 | % | 円 | % | 951,675 円 | 38.5% | | |
| 3-3 | 1,520,000 円 | 61.5% | 円 | % | 円 | % | 951,675 円 | 38.5% | | |
| 合計 | 22,262,000 円 | 53.1% | 円 | % | 円 | % | 19,487,055 円 | 46.9% | | |

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 庄内交通株式会社

1. 車両取得の概要

初年度(令和4年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種別 | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(現金、割賦、リース) |
|---------|------|--------------|----------------|-------|---------|----------|---------|-------------------|
| | | | | | | | | |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)×消費税を除く | | | 合計 | 実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円) | 未と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) △×(0.5or0.4)=△ (定額法)△×0.2=△ | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | △と△のうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 △×△÷12(月)=△ | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|-------------------|-------|---------|----|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-----------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | | | | | | | | | | | | |
| イ | ロ | ハ | イ+ロ+ハ=ニ | | ニ-1円=ホ | ヘ | | チ | ト+チ=ス | ル | ヲ | ワ | 円 | カ×1/2=コ | ヘ-カ=ク |
| 1 | | | | | | | | | | | | | 円 | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | 千円 | | |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) への額以内 | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | レと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|-----------------------|---------|---------------|-------------------|--------|---------|
| | | | レ | ソ | ツ | ツ×1/2=ネ |
| 計 | | | | | 千円 | |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| カ+ツ | コ+ネ |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的負担 |
|---------|------|------------|-----|------|---|-------|--|-------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | |
| 1 | | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | | |

2年目以降(令和4年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | |
|---------|------|--------------|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 初年度 |
| 羽越 | 1 | 三川-酒田 | 第20号 | R2 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度△(2年目のみ)の額=ラ | 普通償却限度額(円) (定率法) △×(0.5or0.4)=△ (定額法)△×0.2=△ | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | △と△のうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 △×△÷12(月)=△ (最終年度)△=マ | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|------------------------|----------------------------|---|----------|-----------|-----------|-----------------|---------|------------------------------------|---------|-----------|
| 1 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000 円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 計 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000 千円 | 1,500 | 6,000,000 |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元金均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) への額以内=コ | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 | レと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|-------------------------|---------|---------|-----|---------------|-------------------|--------|---------|
| | | | (自) | (至) | | | | |
| 1 | 15,000,000 | 12 | 24 | 35 | 1.25% | 98,428 円 | 49.2 | |
| 計 | | | | | | 98 千円 | 49 | |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| マ+ア | ケ+サ |
| 3,098 | 1,549 |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的負担 |
|---------|------|------------|------|------|---|-------|------|-------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | |
| 1 | | 15,000,000 | 60.8 | 0 | 0 | 0 | 39.2 | |
| 計 | | 15,000,000 | 60.8 | 0 | 0 | 0 | 39.2 | |

(1) 記載要領

- 申請の概要は、事業者ごと、補助申請車両1両ごとに申請番号をかえて記載すること。また、2年目以降も当該車両について補助申請を行う場合は、初年度以降の申請の概要を転記又は添付の上申請すること。
- 「確保維持費国庫補助金申請番号」の欄には、補助申請車両の配車予定の運行系統に係る確保維持費補助金の申請番号を記載すること。
- 「車両の種別」の欄は、ノンステップ型スロープもしくはリフト付き車両(標準仕様又はそれ以外の車両)、ワンステップ型スロープもしくはリフト付き車両、小型車両、都市間連絡用車両の別がわかるように記載すること。
- 「乗車定員」の欄には、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両の保安基準第24条、第53条)。
- 「車両の長さ」の欄は、小数点第1位(第2位以下切捨て)まで記載すること。
- 【車両購入金融費用】の「補助対象経費」の借入利率は、実借入利率で算出した額を計上すること。(補助上限:年2.5%)
- 【車両購入金融費用】は、売買契約書等によるほか、リース総額の見積書・契約書によるほか、車両等価格及び金融費用相当額がわかるものを提出することとする。
- 【計画額】の欄は、車両ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 【普通償却限度額】の欄は、平成24年4月1日以降に取得された減価償却資産で、定率法により償却される事業者については、0.4(定率法)の償却率を適用すること。
- 【普通償却限度額(△欄)】は、補助対象限度額(ナ欄)に保証率を乗じた償却額との比較により下回る場合、残存価格(ラ欄)に改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額(△欄)とする。なお、改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額とした場合、次年度において償却を行う必要がある場合は、普通償却限度額(△欄)は計算式によらずに前年度と同額とする。
※平成24年4月1日以後に取得した車両:保証率0.10800 改定償却率0.500

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第1節及び第2節に係る経常費用を除く。)及びこれに関連する必要な事項を記載した書
- 補助対象購入車両減価償却費及び当該購入に係る金融費用の根拠となる書類((1)7.9.10関連)
- 標準仕様ノンステップバスを購入する場合には、認定書の写し
- 低床型車両のノンステップ型で、標準仕様以外の車両について補助を受けようとする場合には、その理由を記載した書類
- 移動円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令第43条に基づく適用除外車両の認定を受ける予定の車両にあつては、その旨を記載した自認書類(2年目以降の車両にあつては、認定書の写し。)
- 補助対象事業者ごとの、車両購入後の乗合バス事業用車両の状況見込(車両数、平均車令)
- 過去に生活交通確保維持改善計画の認定申請又は補助金交付申請の添付書類として既に提出している場合は、当該書類の添付を省略することができる。

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 山交バス株式会社

1. 車両取得の概要

| 初年度(令和5年度) | | | | | | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|----------------|----------|--------|---------|----------|---------|-------------------|-----|
| 補助プロジェクト名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種類 | | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(税金、罰金、リース) | |
| 羽越 | 5-1 | 寒河江(松川・老沢)宮宿山交ビル→寒河江駅前 | 5・7 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 5 . 1 | リース |
| 羽越 | 5-2 | 天童(東根市役所)北町山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 9・2 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 5 . 1 | リース |
| 羽越 | 5-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松葉山山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 5 . 1 | リース |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定率法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) ヘ×(0.5×0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ヲ×7÷12(月)=ホ | 計画額(千円) | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-------|-----|---------|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-------------------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | 合計 | | | | | | | | | | | |
| | イ | ロ | ハ | イ+ロ+ハ=ニ | ニ-1円=ホ | ヘ | ト | チ | ト+チ=ス | ル | ヲ | 7 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | | | 0 | | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) ヘ×(0.5×0.4)=ト (定額法)ヘ×0.2=ト | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ヲ×7÷12(月)=ホ | 計画額(千円) | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-----------|-----|------------|---------------------------|-------------------|--|----------|-----------|------------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-------------------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | 合計 | | | | | | | | | | | |
| 5-1 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 5-2 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 5-3 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 計 | 50,760,000 | 3,291,000 | 0 | 54,051,000 | 54,050,997 | 45,000,000 | 9,000,000 | | 9,000,000 | 11,901,960 | 9,000,000 | | 6,750 | 3,375 | 38,250,000 |

【車両購入金融費用】
事業者の返済方法(元利均等の元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | しと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|--------------|---------|---------------|-------------------|----------|---------|
| 5-1 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 5-2 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 5-3 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 計 | 45,000,000 | | | | 163 千円 | 81 |

【所要経費】

| | |
|------------|---------|
| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
| カ+ツ | ヨ+ネ |
| 6,913 | 3,456 |

【負担者とその負担割合】

| 補助プロジェクト名 | 負担者とその負担割合 | | | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------|------|-------------|-------------|-------|
| | 都道府県 | | 市区町村 | | 事業者自己負担 | | |
| 申請番号 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 羽越 | 1 | 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% |
| | 2 | 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% |
| | 3 | 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% |
| 合計 | 3,456,600 円 | 40.2% | 円 | % | 5,152,434 円 | 59.8% | |

2年目以降 令和 5 年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助会申請番号 | |
|---------|------|------------------------------------|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 初年度 |
| 羽越 | 30-1 | 寒河江駅前(松川・石巻)宮宿 寒河江～谷地 | 5・6 | 7・8 |
| 羽越 | 30-2 | 山交ビル～寒河江駅前 寒河江～谷地 | 6・7 | 2・3 |
| 羽越 | 30-3 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長岡)天童 | 11 | 11 |
| 羽越 | 30-4 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長岡)天童 | 11 | 11 |
| 羽越 | 30-5 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長岡)天童 | 11 | 9 |
| 羽越 | 2-1 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-2 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-3 | 山交ビル(徳山)天童 山交ビル(長岡)天童 | 11 | 11 |
| 羽越 | 3-1 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松葉山 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | 3・4 |
| 羽越 | 3-2 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |
| 羽越 | 3-3 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |
| 羽越 | 4-1 | 寒河江(松川・石巻)宮宿 山交ビル～寒河江駅前 | 5・7 | 5・8 |
| 羽越 | 4-2 | 天童(東根市役所)北町 山交ビル(荒谷・石巻)天童 | 9・2 | 9・2 |
| 羽越 | 4-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松葉山 山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | 3・4 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度(2年目のみ)の額=ウ | 普通償却限度額(円) (定率法) $ナ \times (0.5 \text{ or } 0.4) = ム$ (定額法) $ナ \times 0.2 = ム$ | 特別償却額(円) ウ | 償却限度額(円) ム+ウ=ノ | 事業者償却額(円) オ | ノとのうち少ない方の額(円) ク | 償却期間(月) ヤ | 補助対象経費 $ク \times ヤ \div 12 (月) = マ$ (最終年度) $ク = マ$ | 計画額(千円) $マ \times 1/2 = ケ$ | * 残存価格(円) ラ=マ=フ |
|------|------------------------|---------------------------|--|---------------|-------------------|----------------|---------------------|--------------|--|-------------------------------|--------------------|
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 千円 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度(2年目のみ)の額=ウ | 普通償却限度額(円) (定率法) $ナ \times (0.5 \text{ or } 0.4) = ム$ (定額法) $ナ \times 0.2 = ム$ | 特別償却額(円) ウ | 償却限度額(円) ム+ウ=ノ | 事業者償却額(円) オ | ノとのうち少ない方の額(円) ク | 償却期間(月) ヤ | 補助対象経費 $ク \times ヤ \div 12 (月) = マ$ (最終年度) $ク = マ$ | 計画額(千円) $マ \times 1/2 = ケ$ | * 残存価格(円) ラ=マ=フ |
|------|------------------------|---------------------------|--|---------------|-------------------|----------------|---------------------|--------------|--|-------------------------------|--------------------|
| 30-1 | 15,000,000 | 1,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 7 | 1,750,000円 | 875.0 | 0 |
| 30-2 | 15,000,000 | 1,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 7 | 1,750,000円 | 875.0 | 0 |
| 30-3 | 15,000,000 | 1,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 7 | 1,750,000円 | 875.0 | 0 |
| 30-4 | 15,000,000 | 1,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 7 | 1,750,000円 | 875.0 | 0 |
| 30-5 | 15,000,000 | 1,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,032,000 | 3,000,000 | 7 | 1,750,000円 | 875.0 | 0 |
| 2-1 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 2-2 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 2-3 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 3-1 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 3-2 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 3-3 | 15,000,000 | 9,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,000,000 |
| 4-1 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 4-2 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 4-3 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 計 | 210,000,000 | 92,000,000 | 42,000,000 | | 42,000,000 | 55,832,740 | | | 35,750千円 | 17.875 | 56,250,000 |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 エ | 1と2.5%のうち低い方の率(%) セ | 補助対象経費 ア | 計画額(千円) $ア \times 1/2 = イ$ |
|------|-------------------------|---------|----------|----------|--------------------|------------------------|-------------|-------------------------------|
| | | | (自) イ | (至) ロ | | | | |
| 30-1 | 15,000,000 | 7 | 54 | 60 | 0.28% | 0.28% | 1,672 円 | 0.8 |
| 30-2 | 15,000,000 | 7 | 54 | 60 | 0.28% | 0.28% | 1,672 円 | 0.8 |
| 30-3 | 15,000,000 | 7 | 54 | 60 | 0.28% | 0.28% | 1,672 円 | 0.8 |
| 30-4 | 15,000,000 | 7 | 54 | 60 | 0.28% | 0.28% | 1,672 円 | 0.8 |
| 30-5 | 15,000,000 | 7 | 54 | 60 | 0.28% | 0.28% | 1,672 円 | 0.8 |
| 2-1 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.4218% | 0.4218% | 19,588 円 | 9.7 |
| 2-2 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.4218% | 0.4218% | 19,588 円 | 9.7 |
| 2-3 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.4218% | 0.4218% | 19,588 円 | 9.7 |
| 3-1 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.3762% | 0.3762% | 28,810 円 | 14.4 |
| 3-2 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.3762% | 0.3762% | 28,810 円 | 14.4 |
| 3-3 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.3762% | 0.3762% | 28,810 円 | 14.4 |
| 4-1 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 4-2 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 4-3 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 計 | 210,000,000 | | | | | | 331 千円 | 165 |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| マ+ア | ケ+カ |
| 36,081 | 18,040 |

【負担者とその負担割合】

| 補助 科目 名 | 申請 番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|---------------|--------------|------------|------|------|------|-------|--------------|---------|------|--------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の 具体的な概要 |
| | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 30-1 | 875,800 円 | 27.7% | 円 | % | 円 | % | 2,282,072 円 | 72.3% | | |
| 30-2 | 875,800 円 | 27.7% | 円 | % | 円 | % | 2,282,072 円 | 72.3% | | |
| 30-3 | 875,800 円 | 27.7% | 円 | % | 円 | % | 2,282,072 円 | 72.3% | | |
| 30-4 | 875,800 円 | 27.7% | 円 | % | 円 | % | 2,282,072 円 | 72.3% | | |
| 30-5 | 875,800 円 | 27.7% | 円 | % | 円 | % | 2,282,072 円 | 72.3% | | |
| 2-1 | 1,509,700 円 | 60.8% | 円 | % | 円 | % | 972,188 円 | 39.2% | | |
| 2-2 | 1,509,700 円 | 60.8% | 円 | % | 円 | % | 972,188 円 | 39.2% | | |
| 2-3 | 1,509,700 円 | 60.8% | 円 | % | 円 | % | 972,188 円 | 39.2% | | |
| 3-1 | 1,514,400 円 | 61.4% | 円 | % | 円 | % | 951,610 円 | 38.6% | | |
| 3-2 | 1,514,400 円 | 61.4% | 円 | % | 円 | % | 951,610 円 | 38.6% | | |
| 3-3 | 1,514,400 円 | 61.4% | 円 | % | 円 | % | 951,610 円 | 38.6% | | |
| 4-1 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,354 円 | 38.7% | | |
| 4-2 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,354 円 | 38.7% | | |
| 4-3 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,334 円 | 38.7% | | |
| 合計 | 18,040,000 円 | 47.3% | 円 | % | 円 | % | 20,083,796 円 | 52.7% | | |

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 庄内交通株式会社

1. 車両取得の概要

初年度(令和5年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種別 | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(現金、割賦、リース) |
|---------|------|--------------|----------------|-------|---------|----------|---------|-------------------|
| | | | | | | | | |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)×消費税を除く | | | 合計 | 実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円) | 未と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) △×(0.5or0.4)=△ (定額法)△×0.2=△ | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | △と△のうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 △×△÷12(月)=△ | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|-------------------|-------|---------|----|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|-----------------------|---------|-----------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | | | | | | | | | | | | |
| イ | ロ | ハ | イ+ロ+ハ=ニ | | ニ-1円=ホ | ヘ | | チ | ト+チ=ス | ル | ヲ | ワ | 円 | カ×1/2=コ | ヘ-カ=ク |
| 1 | | | | | | | | | | | | | 円 | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | 千円 | | |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) への額以内 | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | レと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|-----------------------|---------|---------------|-------------------|--------|---------|
| | | | | | ツ | ツ×1/2=ネ |
| | | | | | | 円 |
| | | | | | | 円 |
| 計 | | | | | 千円 | 千円 |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| カ+ツ | コ+ネ |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的負担 |
|---------|------|------------|-----|------|---|---------|--|-------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | 事業者自己負担 | | |
| 1 | | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | | |
| 羽越 | | | | | | | | |
| 合計 | | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | | |

2年目以降(令和5年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | |
|---------|------|--------------|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 初年度 |
| 羽越 | 1 | 三川-酒田 | 第20号 | R2 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度△(2年目のみ)の額=ラ | 普通償却限度額(円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ナ×0.2=ム | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | ノとオのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|------------------------|----------------------------|---|----------|-----------|-----------|-----------------|---------|------------------------------------|---------|-----------|
| | | | | | | | | | | | |
| 1 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000 円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| | | | | | | | | | 円 | | |
| 計 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000 千円 | 1,500 | 3,000,000 |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元金均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) ナへの額以内=コ | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 | レと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|--------------------------|---------|---------|-----|---------------|-------------------|--------|---------|
| | | | (自) | (至) | | | | |
| 1 | 15,000,000 | 12 | 36 | 47 | 1.25% | 60,929 円 | 30.4 | |
| | | | | | | 円 | | |
| 計 | | | | | | 60 千円 | 30 | |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| マ+ア | ケ+サ |
| 3,060 | 1,530 |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的負担 |
|---------|------|------------|------|------|---|---------|------|-------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | 事業者自己負担 | | |
| 1 | | 100 | 60.5 | 0 | 0 | 0 | 39.5 | |
| 羽越 | | | | | | | | |
| 合計 | | 100 | 60.5 | 0 | 0 | 0 | 39.5 | |

(1) 記載要領

- 申請の概要は、事業者ごと、補助申請車両1両ごとに申請番号をかえて記載すること。また、2年目以降も当該車両について補助申請を行う場合は、初年度以降の申請の概要を転記又は添付の上申請すること。
- 「確保維持費国庫補助金申請番号」の欄には、補助申請車両の配車予定の運行系統に係る確保維持費補助金の申請番号を記載すること。
- 「車両の種別」の欄は、ノンステップ型スロープもしくはリフト付き車両(標準仕様又はそれ以外の車両)、ワンステップ型スロープもしくはリフト付き車両、小型車両、都市間連絡用車両の別がわかるように記載すること。
- 「乗車定員」の欄には、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両の保安基準第24条、第53条)。
- 「車両の長さ」の欄は、小数点第1位(第2位以下切捨て)まで記載すること。
- 【車両購入金融費用】の「補助対象経費」の借入利率は、実借入利率で算出した額を計上すること。(補助上限:年2.5%)
- 【車両購入金融費用】は、売買契約書等によるほか、リース総額の見積書・契約書によるほか、車両等価格及び金融費用相当額がわかるものを提出することとする。
- 【計画額】の欄は、車両ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 実費購入予定費については、見積書等によるほか、車両価格、附属品価格、改造費それぞれ区分した証拠書類を提出すること。なお、2年目以降の車両については、売買契約書等により確認することとする。
- リース車両についても当該記載要領を準用するが、リース総額の見積書・契約書によるほか、車両等価格及び金融費用相当額がわかるものを提出すること。
- 【普通償却限度額】の欄は、平成24年4月1日以降に取得された減価償却資産で、定率法により償却される事業者については、0.4(定率法)の償却率を適用すること。
- 【普通償却限度額(ム欄)】は、補助対象限度額(ナ欄)に保証率を乗じた償却額との比較により下回る場合、残存価格(ラ欄)に改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額(ム欄)とする。なお、改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額とした場合、次年度において償却を行う必要がある場合は、普通償却限度額(ム欄)は計算式によらずに前年度と同額とする。
※平成24年4月1日以後に取得した車両:保証率0.10800 改定償却率:0.500

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第1節及び第2節に係る経常費用を除く。)及びこれに関連する必要な事項を記載した書
- 補助対象購入車両減価償却費及び当該購入に係る金融費用の根拠となる書類((1)7.9.10関連)
- 標準仕様ノンステップバスを購入する場合には、認定書の写し
- 低床型車両のノンステップ型で、標準仕様以外の車両について補助を受けようとする場合には、その理由を記載した書類
- 移動円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令第43条に基づく適用除外車両の認定を受ける予定の車両にあつては、その旨を記載した自認書類(2年目以降の車両にあつては、認定書の写し。)
- 補助対象事業者ごとの、車両購入後の乗合バス事業用車両の状況見込(車両数、平均車令)
- 過去に生活交通確保維持費計画の認定申請又は補助金交付申請の添付書類として既に提出している場合は、当該書類の添付を省略することができる。

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 山交バス株式会社

1. 車両取得の概要

| 初年度(令和6年度) | | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種類 | | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(税金、罰金、リース) | |
|------------|------|--------------------------------|----------------|----------|--------|---------|----------|---------|-------------------|-----|
| 補助プロジェクト名 | 申請番号 | | | | | | | | | |
| 羽越 | 6-1 | 寒河江(松川・左沢)宮宿山交ビル→寒河江駅前 | 5・7 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 6 . 1 | リース |
| 羽越 | 6-2 | 天童(東根市役所)北町山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 9・2 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 6 . 1 | リース |
| 羽越 | 6-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松葉山山形(若葉町・南山形)高松葉山 | 3・4 | ノンステップバス | スロープ付き | 標準 | 57 | 8.9 | 6 . 1 | リース |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定率法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) △×(0.5×0.4)=△ (定額法)△×0.2=△ | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 ラ×ワ÷12(月)=カ | 計画額(千円) カ×1/2=コ | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-------|-----|---------|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|-----------------------|--------------------|-------------------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | 合計 | | | | | | | | | | | |
| | イ | ロ | ハ | イ+ロ+ハ=ニ | ニ-1円=ホ | ヘ | ト | チ | ト+チ=ス | ル | ヲ | ワ | ク | コ | ク |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 0 | | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】
事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)※消費税を除く | | | | 実費購入予定費合計額から償却価格を控除した額(円) | 本と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) (定率法) △×(0.5×0.4)=△ (定額法)△×0.2=△ | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | スとルのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 テ×ワ÷12(月)=カ | 計画額(千円) カ×1/2=コ | *残存価格(円) ヘ-カ=ク |
|------|-------------------|-----------|-----|------------|---------------------------|-------------------|--|----------|-----------|------------|-----------------|---------|-----------------------|--------------------|-------------------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | 合計 | | | | | | | | | | | |
| 6-1 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 6-2 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 6-3 | 16,920,000 | 1,097,000 | 0 | 18,017,000 | 18,016,999 | 15,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 9 | 2,250,000 | 1,125.0 | 12,750,000 |
| 計 | 50,760,000 | | | 54,051,000 | 54,050,997 | 45,000,000 | 9,000,000 | | 9,000,000 | 11,901,960 | 9,000,000 | | 6,750 | 3,375 | 38,250,000 |

【車両購入金融費用】
事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | しと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|--------------|---------|---------------|-------------------|----------|---------|
| 6-1 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 6-2 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 6-3 | 15,000,000 | 9 | 0.5192% | 0.5192% | 54,558 円 | 27.2 |
| 計 | 45,000,000 | | | | 163 千円 | 81 |

【所要経費】

| | |
|------------|---------|
| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
| カ+ツ | コ+ネ |
| 6,913 | 3,456 |

【負担者とその負担割合】

| 補助プロジェクト名 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の具体的な負担 |
|---------------|---------------|-------|------|-------------|-------------|-------|----------------|
| | 都道府県 | | 市区町村 | | 事業者自己負担 | | |
| 羽越 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| | 1 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% | |
| | 2 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% | |
| 3 1,152,200 円 | 40.2% | 円 | % | 1,717,478 円 | 59.8% | | |
| 合計 | 3,456,600 円 | 40.2% | 円 | % | 5,152,434 円 | 59.8% | |

2年目以降 令和 6 年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助会申請番号 | |
|---------|------|------------------------------------|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 初年度 |
| 羽越 | 2-1 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-2 | 山交ビル～寒河江駅前 | 7 | 8 |
| 羽越 | 2-3 | 山交ビル(旗山)天童温泉 山交ビル(長岡)天童温泉 | 11 | 11 |
| 羽越 | 3-1 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松薬山 山形(若葉町・南山形)高松薬山 | 3・4 | 3・4 |
| 羽越 | 3-2 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |
| 羽越 | 3-3 | 山交ビル～寒河江 寒河江～谷地 | 6・7 | 6・7 |
| 羽越 | 4-1 | 寒河江(松川・左沢)宮宿 山交ビル～寒河江駅前 | 5・7 | 5・8 |
| 羽越 | 4-2 | 天童(東横市役所)北町 山交ビル(荒谷・石巻)天童 | 9・2 | 9・2 |
| 羽越 | 4-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松薬山 山形(若葉町・南山形)高松薬山 | 3・4 | 3・4 |
| 羽越 | 5-1 | 寒河江(松川・左沢)宮宿 山交ビル～寒河江駅前 | 5・7 | 5・8 |
| 羽越 | 5-2 | 天童(東横市役所)北町 山交ビル(荒谷・石巻)天童 | 9・2 | 9・2 |
| 羽越 | 5-3 | 県庁(表蔵王・四ツ谷)高松薬山 山形(若葉町・南山形)高松薬山 | 3・4 | 3・4 |

【購入車両減価償却費】
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定率法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度(2年目のみ)の額=ラ | 普通償却限度額(円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ラ×0.2=ム | 特別償却額(円) ウ | 償却限度額(円) ム+ウ=ノ | 事業者償却額(円) オ | ととのうち少ない方の額(円) ク | 償却期間(月) ヤ | 補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ | 計画額(千円) マ×1/2=カ | *残存価格(円) ラ-マ=フ |
|------|------------------------|---------------------------|---|---------------|-------------------|----------------|---------------------|--------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| | | | | 0 | | | | | 円 | 0.0 | 0 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 千円 | 0 | 0 |

【購入車両減価償却費】
○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=ナ | 残存価額(円) 前年度(2年目のみ)の額=ラ | 普通償却限度額(円) (定率法) ラ×(0.5or0.4)=ム (定額法)ラ×0.2=ム | 特別償却額(円) ウ | 償却限度額(円) ム+ウ=ノ | 事業者償却額(円) オ | ととのうち少ない方の額(円) ク | 償却期間(月) ヤ | 補助対象経費 ク×ヤ÷12(月)=マ (最終年度)ク=マ | 計画額(千円) マ×1/2=カ | *残存価格(円) ラ-マ=フ |
|------|------------------------|---------------------------|---|---------------|-------------------|----------------|---------------------|--------------|------------------------------------|--------------------|-------------------|
| 2-1 | 15,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 0 |
| 2-2 | 15,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 0 |
| 2-3 | 15,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,972,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 0 |
| 3-1 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 3-2 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 3-3 | 15,000,000 | 6,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,951,600 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 3,000,000 |
| 4-1 | 15,000,000 | 9,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,750,000 |
| 4-2 | 15,000,000 | 9,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,750,000 |
| 4-3 | 15,000,000 | 9,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 6,750,000 |
| 5-1 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 5-2 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,320 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 5-3 | 15,000,000 | 12,750,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 3,967,300 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000円 | 1,500.0 | 9,750,000 |
| 計 | 180,000,000 | 94,500,000 | 36,000,000 | | 36,000,000 | 47,574,700 | 36,000,000 | | 36,000千円 | 18,000 | 58,500,000 |

【車両購入金融費用】
○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元利均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) ナの額以内=コ | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 エ | エと2.5%のうち低い方の率(%) テ | 補助対象経費 ア | 計画額(千円) ア×1/2=イ |
|------|-------------------------|---------|---------|-----|--------------------|------------------------|-------------|--------------------|
| | | | (自) | (至) | | | | |
| 2-1 | 15,000,000 | 12 | 49 | 60 | 0.4218% | 0.4218% | 6,840 円 | 3.4 |
| 2-2 | 15,000,000 | 12 | 49 | 60 | 0.4218% | 0.4218% | 6,840 円 | 3.4 |
| 2-3 | 15,000,000 | 12 | 49 | 60 | 0.4218% | 0.4218% | 6,840 円 | 3.4 |
| 3-1 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.3762% | 0.3762% | 17,505 円 | 8.7 |
| 3-2 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.3762% | 0.3762% | 17,505 円 | 8.7 |
| 3-3 | 15,000,000 | 12 | 37 | 48 | 0.3762% | 0.3762% | 17,505 円 | 8.7 |
| 4-1 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.5192% | 0.5192% | 43,722 円 | 21.8 |
| 4-2 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.5192% | 0.5192% | 43,722 円 | 21.8 |
| 4-3 | 15,000,000 | 12 | 25 | 36 | 0.5192% | 0.5192% | 43,722 円 | 21.8 |
| 5-1 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 5-2 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 5-3 | 15,000,000 | 12 | 13 | 24 | 0.5192% | 0.5192% | 59,234 円 | 29.6 |
| 計 | 180,000,000 | | | | | | 381 千円 | 190 |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) マ+ア | 計画額(千円) ケ+ク |
|-------------------|----------------|
| 36,381 | 18,190 |

【負担者とその負担割合】

| 補助 項目 の 名 | 申請 番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | | | |
|--------------------|--------------|-------------|-------|------|------|-------|--------------|-----------|-------|--------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | 事業者自己負担 | | 「その他の者」の 具体的な概要 |
| | | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | 負担額 | 負担割合 | |
| 2-1 | 1,502,400 円 | 60.7% | 円 | % | 円 | % | 972,040 円 | 39.3% | | |
| 2-2 | 1,502,400 円 | 60.7% | 円 | % | 円 | % | 972,040 円 | 39.3% | | |
| 2-3 | 1,502,400 円 | 60.7% | 円 | % | 円 | % | 972,040 円 | 39.3% | | |
| 3-1 | 1,508,700 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 951,705 円 | 38.7% | | |
| 3-2 | 1,508,700 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 951,705 円 | 38.8% | | |
| 3-3 | 1,508,700 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 951,705 円 | 38.7% | | |
| 別掲 | 4-1 | 1,521,800 円 | 61.1% | 円 | % | 円 | % | 967,442 円 | 38.9% | |
| | 4-2 | 1,521,800 円 | 61.1% | 円 | % | 円 | % | 967,442 円 | 38.9% | |
| | 4-3 | 1,521,800 円 | 61.1% | 円 | % | 円 | % | 967,442 円 | 38.9% | |
| 5-1 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,354 円 | 38.7% | | |
| 5-2 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,354 円 | 38.7% | | |
| 5-3 | 1,529,600 円 | 61.3% | 円 | % | 円 | % | 967,324 円 | 38.7% | | |
| 合計 | 18,185,000 円 | 61.1% | 円 | % | 円 | % | 11,878,603 円 | 38.9% | | |

表7 車両の取得を行う事業者(車両減価償却費等国庫補助金)

事業者名 庄内交通株式会社

1. 車両取得の概要

初年度(令和6年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | 車両の種別 | 乗車定員(人) | 車両の長さ(m) | 購入等予定年月 | 購入等の種別(現金、割賦、リース) |
|---------|------|--------------|----------------|-------|---------|----------|---------|-------------------|
| | | | | | | | | |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)

定額法

| 申請番号 | 実費購入予定費(円)×消費税を除く | | | 合計 | 実費購入予定費合計額から備忘価格を控除した額(円) | 未と限度額のうち少ない方の額(円) | 普通償却限度額(円) A×(0.5or0.4)=B (定額法)A×0.2=B | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | AとBのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 B×C×1/2(月)=D | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|-------------------|-------|---------|----|---------------------------|-------------------|--|----------|----------|-----------|-----------------|---------|------------------------|---------|-----------|
| | 車両価格 | 附属品価格 | 改造費 | | | | | | | | | | | | |
| イ | ロ | ハ | イ+ロ+ハ=ニ | | ニ-1円=ホ | ヘ | | チ | ト+チ=ス | ル | ヲ | ワ | 円 | カ×1/2=コ | ヘ-カ=ク |
| 1 | | | | | | | | | | | | | 円 | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | | 千円 | | |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) への額以内 | 償還期間(月) | 借入利率(%) 年利 | レと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|-----------------------|---------|---------------|-------------------|--------|---------|
| | | | | | ツ | ツ×1/2=ネ |
| | | | | | | 円 |
| 計 | | | | | 千円 | |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| カ+ツ | コ+ネ |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的な負担 |
|---------|------|------------|------|------|------|-------|----|--------------------|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | |
| 1 | | 0 | 100% | 0 | 100% | 0 | 0% | |
| 羽越 | | 0 | 100% | 0 | 100% | 0 | 0% | |
| 合計 | | 0 | 100% | 0 | 100% | 0 | 0% | |

2年目以降(令和6年度)

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 確保維持路線名称又は区間 | 確保維持費国庫補助金申請番号 | |
|---------|------|--------------|----------------|-----|
| | | | 当該年度 | 初年度 |
| 羽越 | 1 | 三川-酒田 | 第20号 | R2 |

【購入車両減価償却費】

○事業者の減価償却方法(定率法or定額法)※法令で認められた場合を除き、年度間での変更不可

定額法

| 申請番号 | 補助対象限度額(円) 初年度への額=A | 残存価額(円) 前年度F(2年目のみ)の額=B | 普通償却限度額(円) (定率法) C×(0.5or0.4)=D (定額法)C×0.2=D | 特別償却額(円) | 償却限度額(円) | 事業者償却額(円) | AとCのうち少ない方の額(円) | 償却期間(月) | 補助対象経費 D×E×1/2(月)=F (最終年度)G=M | 計画額(千円) | * 残存価格(円) |
|------|------------------------|----------------------------|---|----------|-----------|-----------|-----------------|---------|-------------------------------------|---------|-----------|
| | | | | | | | | | | | |
| 1 | 15,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000,000 円 | 1,500.0 | 0 |
| 計 | 15,000,000 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 4,000,000 | 3,000,000 | 12 | 3,000 千円 | 1,500 | 0 |

【車両購入金融費用】

○事業者の返済方法(元利均等or元金均等)

元金均等

| 申請番号 | 金融費用補助対象額(円) への額以内=C | 償還期間(月) | 今年度償還回数 | | 借入利率(%) 年利 | Eと2.5%のうち低い方の率(%) | 補助対象経費 | 計画額(千円) |
|------|-------------------------|---------|---------|-----|---------------|-------------------|----------|---------|
| | | | (自) | (至) | | | | |
| 1 | 15,000,000 | 12 | 48 | 59 | 1.25% | 1.25% | 23,428 円 | 11.7 |
| 計 | | | | | | | 23 千円 | 11 |

【所要経費】

| 補助対象経費(千円) | 計画額(千円) |
|------------|---------|
| マ+ア | ケ+サ |
| 3,023 | 1,511 |

【負担者とその負担割合】

| 補助ブロック名 | 申請番号 | 負担者とその負担割合 | | | | | | 「その他の者」の 具体的な負担 | | |
|---------|------|--------------|--------|------|-----|-------|-----|--------------------|--------|--|
| | | 都道府県 | | 市区町村 | | その他の者 | | | | |
| 1 | | 15,000,000 円 | 60.2 % | 0 円 | 0 % | 0 円 | 0 % | 38,800 円 | 39.8 % | |
| 羽越 | | 0 円 | 0 % | 0 円 | 0 % | 0 円 | 0 % | 0 円 | 0 % | |
| 合計 | | 15,000,000 円 | 60.2 % | 0 円 | 0 % | 0 円 | 0 % | 38,800 円 | 39.8 % | |

(1) 記載要領

- 申請の概要は、事業者ごと、補助申請車両1両ごとに申請番号をかえて記載すること。また、2年目以降も当該車両について補助申請を行う場合は、初年度以降の申請の概要を転記又は添付の上申請すること。
- 「確保維持費国庫補助金申請番号」の欄には、補助申請車両の配車予定の運行系統に係る確保維持費補助金の申請番号を記載すること。
- 「車両の種別」の欄は、ノンステップ型スロープもしくはリフト付き車両(標準仕様又はそれ以外の車両)、ワンステップ型スロープもしくはリフト付き車両、小型車両、都市間連絡用車両の別がわかるように記載すること。
- 「乗車定員」の欄には、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両の保安基準第24条、第53条)。
- 「車両の長さ」の欄は、小数点第1位(第2位以下切捨て)まで記載すること。
- 【車両購入金融費用】の「補助対象経費」の借入利率は、実借入利率で算出した額を計上すること。(補助上限:年2.5%)
- 【車両購入金融費用】は、売買契約書等によるほか、リース総額の見積書・契約書によるほか、車両等価格及び金融費用相当額がわかるものを提出することとする。
- 【計画額】の欄は、車両ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 【普通償却限度額】の欄は、平成24年4月1日以降に取得された減価償却資産で、定率法により償却される事業者については、0.4(定率法)の償却率を適用すること。
- 【普通償却限度額(ム欄)】は、補助対象限度額(ナ欄)に保証率を乗じた償却額との比較により下回る場合、残存価格(ラ欄)に改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額(ム欄)とする。なお、改定償却率を乗じた償却額を普通償却限度額とした場合、次年度において償却を行う必要がある場合は、普通償却限度額(ム欄)は計算式によらずに前年度と同額とする。
※平成24年4月1日以後に取得した車両:保証率0.10800 改定償却率:0.500

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第1節及び第2節に係る経常費用を除く。)及びこれに関連する必要な事項を記載した書
- 補助対象購入車両減価償却費及び当該購入に係る金融費用の根拠となる書類((1)7.9.10関連)
- 標準仕様ノンステップバスを購入する場合には、認定書の写し
- 低床型車両のノンステップ型で、標準仕様以外の車両について補助を受けようとする場合には、その理由を記載した書類
- 移動円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令第43条に基づく適用除外車両の認定を受ける予定の車両にあつては、その旨を記載した自認書類(2年目以降の車両にあつては、認定書の写し。)
- 補助対象事業者ごとの、車両購入後の乗合バス事業用車両の状況見込(車両数、平均車令)
- 過去に生活交通確保維持費計画の認定申請又は補助金交付申請の添付書類として既に提出している場合は、当該書類の添付を省略することができる。

別添資料 幹線系統バスの生産性向上に係る取組み一覧

| 申請番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | |
|------|---------------------|-------|---------------|---|--------------------|--|------------------------------|---|--------------------------------|--|---|--|
| | | | 取組みの種類 | 取組番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | | 目標数値の算出根拠 | |
| (1) | 山形市役所 (六角・荒砥)長井 | 山交バス㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | | 朝晩は山形方面への通学、通勤客で満員のため、車両の改造が困難 | 増収率 1.5%増 | 2,975名×110円=327千円 327千円/21,821千円=1.5% | ・山形市と長井市を最短路で結ぶ、通院、通学のための唯一の移動手段である。 ・朝夕はほぼ満席であり、代替輸送手段への転換は困難である。 (山形市) 長井市、白鹿町方面から山形市へ通学、通学するための唯一の移動手段であるため必要性は高く路線の維持を希望する。 (長井市) 山形市と長井市を最短路で結ぶ、通院、通学のための唯一の移動手段であり、路線の維持を希望する。 (南陽市) 市内北部地域から山形市内高校への通学のための唯一の移動手段であり維持が重要。地理的条件により他の公共交通への転換が困難。 (白鹿町) 当該路線は、主に白鹿町から山形市内の高校へ通学する学生が多数利用している重要な生活路線である(一週間で延べ約100名が利用(平成28年10月時点))。また、白鹿町から市内内へ鉄路を利用した場合、移動時間は約1時間半と、当該路線の約2倍の時間を要することからも、町民生活の利便性確保のため、当該路線の維持を希望するもの。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | ・フラワー長井線の荒砥駅・長井駅及び市民バスとの接続を改善 | 山交バス 長井市 白鹿町 (山形鉄道) | 平成29年10月より関係者調整 平成30年4月にダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | ・長井市・白鹿町の観光資源を有効活用し、路線バス・フラワー長井線・観光地の企画乗車を販売 ・地域連携DMOとの連携による旅行商品の造成 | 山交バス 長井市 白鹿町 (山形鉄道) | 平成29年10月より検討開始 平成31年度中の販売開始に向け検討 令和2年9月より販売開始 | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ | ・長井⇄山形の往復乗車券のほか新たに白鹿⇄山形の往復乗車券の設定を検討 | 山交バス 白鹿町 | 平成29年10月より検討開始 平成31年度中の販売開始に向け検討 令和2年4月1日から長井線往復と山形鉄道片道・道の駅がいの食事セット券を販売予定 令和2年9月より販売開始 | | | | |
| | | | ④ | ・沿線市町と連携し、体験乗車会や小学校において公共交通に関する学習を実施し、利用促進を図る ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) ・長井駅を経由する経路へ変更 ・運賃の見直しを検討 | 山交バス 山形市 山形市 | 平成29年10月より順次実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 令和3年10月より実施予定 | | | | | | |
| (2) | 山交ビル(荒谷・石倉)天童 | 山交バス㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | | 朝晩は山形方面への通学、通勤客で満員のため、車両の改造が困難 | 増収率 1.8%増 | 3,460名増×184円=636千円 636千円/35,345千円=1.8% | (山形市) 山形市と天童市を結ぶ重要な路線であるとともに、經由地となっている山形市北部の横山地区にとっては、(3)と共に重要な路線であることから路線の維持を希望する。 (天童市) 深山・千手・荒谷地域と山形市内を結ぶ交通手段として、欠かせない路線である |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | (3)の路線の見直し検討とともに、乗降調査を継続的にを行い、複数の適正化等により乗車効率の増加を目指す | 山交バス 山形市 天童市 | 平成29年10月より乗降調査 平成29年12月より関係者調整 平成30年10月にダイヤ改正 令和2年4月にダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | | | | 沿線に観光資源が乏しく、効果が期待できない。 | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ② | ・朝・夕の定期券利用者が多いことから、更なる定期券利用者の増加をはかるPRを実施 ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 山形市 天童市 | 平成29年10月より実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | |
| | | | ③ | ・乗車率の低い天童市内の利用促進を図るため、バス停周辺の利用促進PRを実施 | 山交バス 天童市 | 平成29年10月より実施 | | | | | | |
| | | | ④ | ・運転免許証返納者への新たな支援策として、回数券購入利用券を交付 | 天童市 | 平成29年10月より検討開始 平成30年4月より実施 | | | | | | |
| (3) | 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山 | 山交バス㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | | 路線再編を検討のため | 増収率 1.2%増 | 1,240名増×188円=233千円 233千円/19,391千円=1.2% | (山形市) 山形市を南北に縦断し、山形市と県立中央病院を結ぶ路線であるため、路線の維持を望む。ただし、山形市と上山市を結ぶ路線が複数存在していることから、効率的な運行を目指し、路線の再編を検討する必要があると考える。 (上山市) 山形大学医学部付属病院、山形県立中央病院、山形市総合スポーツセンター等主要施設への重要な路線であり、朝夕は、小学生が利用しているため、必要である。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | ・山形⇄上山を結ぶ系統が10系統存在するため、統廃合などにより効率運行を図る ・県立中央病院とダイヤの更なる適正化を協議する | 山交バス 山形市 上山市 | 平成29年10月に統廃合に向けた検討を開始 平成29年10月に病院側と協議 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | | | | 路線再編を検討のため | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ② | ・スポーツセンターの利用者に対して、バス利用の促進をPR ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 山形市 | 平成29年10月より実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | |

| 申請番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | |
|------|---|---|---------------|---------|---------------------------------|---|---|--|--------------|--|---|--|
| | | | 取組みの種類 | 取組番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | | 目標数値の算出根拠 | |
| (4) | 山形(若葉町・青山山形) 高松葉山 | 山交バス株 | A-1 | 貨客混載 | | | | 山形市街地に入ってから利用者が増加するため、車両の改造が困難 | 増収率 1.0%増 | 3900名増×121円=471千円 471千円/47,134千円=1.0% | ・商業施設の多い青山山形を経由して上市市と山形市を結ぶ唯一の路線であり、抜本的な見直しは困難。 ・(山形市) 商業施設の多い青山山形を経由して上市市と山形市を結ぶ唯一の路線であるため路線の維持を望む。 (上市市) 山形駅前への唯一の路線であるため路線の維持が必要 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | ・乗降調査を継続的にを行い、便数の適正化等により乗車効率の増加を目指す | 山交バス | 平成29年10月以降より順次実施 平成30年4月にダイヤ改正 令和2年4月にダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | ・沿線の黒沢温泉施設との接線の利便性をPR、路線バスを利用した日帰り入浴の商品企画を検討する | 山交バス | 平成29年10月より検討開始 平成30年10月より沿線の観光施設と連携し路線バス利用者限定の特典企画商品を作成。 | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ | ・利用拡大のための住民説明会や乗り方教室を実施 ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 山形市 上市市 | 平成29年10月以降より順次実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | |
| (5) | 寒河江駅前(松川・左沢)宮宿 | 山交バス株 | A-1 | 貨客混載 | | | | 運送事業者からの特段の要請があれば検討 | 増収率 2.0%増 | 1,817名増×147円=267千円 267千円/13,342千円=2.0% | ・西村山地区の寒河江市と朝日町を結ぶ唯一の公共交通手段であり、通学、通院等に必要路線であることから路線の維持を希望する。 (寒河江市) 寒河江市と朝日町を結ぶ唯一の公共交通機関であり、通学、通院等に必要路線であることから路線の維持を希望する。 (朝日町) ・他市町と朝日町を結ぶ唯一の公共交通手段であり、JRへの乗り継ぎの路線にもなっている。朝日町にとっては通学や通院等に必要路線である。 (大江町) ・通学、通院に非常に重要な路線であるため、路線の維持が必要不可欠である。運転免許証返納者支援事業などの町独自の取り組みにより支援を行ってきたい。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | 山交バス | | | | | 需要調査実施結果に基づきダイヤ改正の見直しを実施済 |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ① | ・朝日町ワイン産が沿線にあることから、路線バスで行けるチラシを作成しPR活動を行う(西村山地域の公共交通マップを作成) | 山交バス 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 平成29年10月より順次実施 令和2年3月作成予定 | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ② | ・左沢駅や寒河江駅のJRや市民バスとの乗り継ぎを重視したダイヤへ改善 (西村山地域の公共交通の見え易化のためマップを作成し検討) | 山交バス 寒河江市 大江町 朝日町 | 平成29年9月実証実験、検証開始 平成30年4月にダイヤ改正 令和2年4月に左沢線への乗降を考慮したダイヤ改正を実施 | | | | |
| | | | | | ③ | ・定期券利用者の2/3補助を実施 | 朝日町 | 平成28年4月より実施済み | | | | |
| | | | | | ④ | ・大江町公共交通機関利用促進協議会「学べる子どもツアー事業」の実施 | 大江町 | 平成30年12月2日開催 令和2年3月実施予定 | | | | |
| ⑤ | ・西村山地域の病院に通院する高齢者を対象とする「通院に係る交通手段実態調査」の実施 | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | | | 令和2年2月実施 | | | | | | | |
| ⑥ | ・利便性向上のため運賃見直しを検討 | 山交バス | | | 令和2年より検討開始 令和2年10月からゾーン制運賃導入 | | | | | | | |
| ⑦ | ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス | 令和4年度より運用開始予定 | | | | | | | | | |
| (6) | 寒河江駅前～谷地 | 山交バス株 | A-1 | 貨客混載 | | | | 運送事業者からの特段の要請があれば検討 | 増収率 1.5%増 | 1,485名増×160円=237千円 237千円/15,801千円=1.5% | ・寒河江山形間は通動、通学利用が多いJR左沢線を補充する重要な路線であり、抜本的な見直しは困難 ・河北町と寒河江間の分断検討にあたっては、接続の円滑化に配慮する必要がある。 (山形市) 山形寒河江間の通動、通学利用は多く、JR左沢線を補充する重要な路線となっているため路線の維持を望む。 (寒河江市) 寒河江山形間は通動、通学利用が多いJR左沢線を補充する重要な路線であることから路線の維持を希望する。また、寒河江河北間は、両市町を結ぶ唯一の公共交通機関であり、通学、通院等に必要路線であることから路線の維持を希望する。 (河北町) 河北町には駅がないために山形方面への通動通学には寒河江駅及山形方面への山交バスを利用するケースが多いです。利用者の不便にならないよう山交バス運行の配慮が必要である。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | 山交バス | | | | | 需要調査実施結果に基づき路線分断再編及びダイヤ改正の見直しを実施済(R1.10) |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | 西村山地域の公共交通マップを作成 | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 令和2年3月作成予定 | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ① | ・西村山地域で運行されている交通機関(バス・JR)の運行路線や運行ダイヤ等を一覧できる公共交通マップの作成 (西村山地域の公共交通マップを作成) | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 令和2年3月作成予定 | | | | |
| | | | | | ② | ・西村山地域の病院に通院する高齢者を対象とする「通院に係る交通手段実態調査」の実施 | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 令和2年2月実施 | | | | |
| ③ | ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス | | | 令和4年度より運用開始予定 | | | | | | | |

| 申請 番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | |
|----------|-----------------|-------|---|---|-----------------------------------|--|---|--|-----------------------|--|---|---|
| | | | 取組みの 種類 | 取組 番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | | 目標数値の算出根拠 | |
| (7) | 山交ビル ～寒河江駅前 | 山交バス線 | A-1 | 貨客混載 | | | | | | 増収率 1.5%増 | 4,140名増×151円＝625千円 625千円/41,640千円＝1.5% | ・通勤・通学利用が多いJR左沢線を補完する重要な路線であり、技術的な見直しは困難 (山形市) 山形寒河江間の通勤、通学利用は多く、JR左沢線を補完する重要な路線となっているため路線の維持を望む。 (寒河江市) 通勤、通学利用が多いJR左沢線を補完する重要な路線であることから路線の維持を希望する。 (中山町) 山形市街地及び寒河江市内と中山町を結ぶバス路線としては唯一であり、必要な路線であるが、ニーズに合わせた便数や経路については検討の余地がある。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | ・JR左沢線寒河江駅の接続を考慮しながら、運行の効率化のため、便数や運行時間の見直しを検討 ・病院、ショッピング施設を通過するような経路変更を検討、実証実験を行い、新たな顧客の取り込みを検討 | 山交バス 寒河江市 | 平成29年10月より検討開始 平成30年4月ダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ② | | 山交バス 中山町 | 平成29年10月より検討開始 平成30年4月実証実験 平成30年10月経路変更 | | | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ③ | ・県町南線の路線再編と併に運行回数およびダイヤを検討 | 山交バス | 令和元年10月より実施 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | 西村山地域の公共交通マップを作成 | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 令和2年3月作成予定 | | | | |
| D | その他 利用促進 | ④ | ・西村山地域で運行されている交通機関(バス・JR)の運行路線や運行ダイヤ等を一覧できる公共交通マップの作成 (西村山地域の公共交通マップを作成) | 寒河江市 河北町 西川町 朝日町 大江町 山形県 | 令和2年3月作成予定 | | | | | | | |
| | その他 利用促進 | ⑤ | ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス | 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (8) | 天童～寒河江 | | A-1 | 貨客混載 | | | | | 増収効果に主に寄与するのは料金体系の見直し | ・天童・寒河江間はJRがなく、重要な移動手段。 (天童市) ・通勤・通学等に欠かせない路線である。利用者の中には、停留所のある天童駅や寒河江駅、寒河江市立病院から乗り継ぎをしている人もおり、路線の維持を希望するもの。 (寒河江市) 通勤・通学に欠かせない路線である。寒河江駅などから天童市内の医療機関や商業施設等へ乗り継ぎをしている人もおり、市民生活に必要な路線であることから、路線の維持を希望するもの。 | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | | ・利便性向上のため路線延長(旧ららパーク⇨寒河江駅前、新:天童南駅⇨寒河江市立病院) ・料金体系の見直しにより収益性改善 | 山交バス 天童市 寒河江市 | 令和3年4月より実施 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | | | 当該路線と競合する路線がない | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | ・西村山地域の公共交通マップに掲載 | 寒河江市、河北町 朝日町、朝日町 大江町、山形県 | 令和3年4月作成 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | | ・運転免許証返納者への支援策として、回数券の選択可能 | 天童市 寒河江市 | 令和3年4月より実施 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| (9) | 天童(東根市役所) 北町 | 山交バス線 | A-1 | 貨客混載 | | | | | 増収率 1.5%増 | 1,390名増×108円＝150千円 150千円/9,943千円＝1.5% | ・通勤、通学利用が多いJR奥羽本線を補完する重要な路線であり、技術的な見直しは困難であるが、定時刻の確保の対策について検討が必要 (山形市) 通勤、通学利用が多いJR奥羽本線を補完する重要な路線であり、路線の維持を望む (村山市) ・通勤、通学利用が多いJR奥羽本線を補完する重要な路線である。通学や交通弱者対策としても必要な路線として現状維持が望ましい。 (天童市) 天童市内と東根市方面を結ぶ交通手段として欠かせない路線である。 (東根市) 通勤・通学・通院利用者にとって重要な路線であるため、維持を希望する。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | ・延長が長く、頻繁に運行遅延が発生しており、実証調査を継続的にを行い、乗換えを前提に検討 ・山形⇨天童、天童⇨北町(村山)⇨分館を | 山交バス 山形市 天童市 東根市 村山市 | 平成29年10月より乗降調査 平成30年4月より関係者調整 平成30年10月1日再編完了 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | | | | 当該路線と競合する路線がない |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | | 沿線の観光施設と連携し路線バス利用者限定の特典企画商品を作成。 ・運転免許証返納者への新たな支援策として、回数券購入利用券を交付 | | 平成29年10月より実施 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ② | ・沿線の村山産業高校・村山特別支援学校などとダイヤや便数の協議実施 ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 天童市 | 令和元年10月実施 令和2年4月ダイヤ改正 令和4年度より運用開始予定 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

| 申請番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | |
|------|-------------------------|--------------|--|----------------|----------------|--|-------------------------|---|------------------------------------|--|--|---|
| | | | 取組みの種類 | 取組番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | | 目標数値の算出根拠 | |
| (10) | 山交ビル (県立中央病院・高橋)天童温泉 | 山交バス線 | A-1 | 貨客混載 | | | | | 路線再編を検討のため | 運行回数 30回 輸送量 15.0人 | 移動機会の最適な確保として 運行回数を3.0回 輸送量:乗車密度5.0人×3.0 回 | (山形市) 運転免許センターへの移動手段を確保する必要があることから、乗降調査の結果などを踏まえて、路線の見直しを適切に行う必要がある。 (天童市) 複数の多い(9)、(11)で、運転免許センター・県立中央病院等の主要施設へのアクセスを確保できれば再編もやむを得ない。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | 輸送量(2便/日)が少ないことから、乗降調査を継続的に行い、廃止を検討してきたが、運転免許センター・県立病院の特定のニーズのある路線(輸送量はぎりの路線)のため、維持する方向で調整中 | 山交バス 山形市 天童市 | 平成29年10月より乗降調査 平成30年1月より関係者調整 令和2年4月ダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | 沿線の観光施設と連携し路線バス利用者限定の特典企画商品を作成 | 山交バス | 平成29年10月より実施 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ② | ・運転免許証返納者への新たな支援策として、回数券購入利用券を交付 ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 天童市 | 平成30年4月より実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | |
| (11) | 山交ビル(漆山)天童温泉 | 山交バス線 | A-1 | 貨客混載 | | | | | ・運送事業者からの特段の要請があれば検討 | 増収率 1.5%増 | 4,400名増×147円=647千円 647千円/43,185千円=1.5% | (山形市) バス事業者と連携し、バス停周辺への住宅街においてバス利用促進のPRを実施し、生産性向上に向け取り組む。 (天童市) 天童市内の市街地を通り山形市内を結ぶ重要な路線である。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | (10)路線の廃止検討に合わせて、便数の適正化等を図る | 山交バス 山形市 天童市 | 平成29年10月より乗降調査 平成30年4月検討開始 | | | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ② | ・乗降調査を継続的に行い、便数の適正化等により乗車効率の増加を目指す。 | 山交バス | 平成29年10月より乗降調査 平成30年4月にダイヤ改正 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ③ | 「東芳賀」バス停より徒歩15分にNDスタジオがあるのので、チラシを作成しPR活動を行う | 山交バス | 平成29年10月より順次実施 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ④ | ・バス事業者、市町村が連携し、天童市内・山形市内でのバス停周辺への住宅街においてバス利用促進のPRを実施 ・わかりやすい表示に向けて、方面記号・行先番号を導入し利便性向上を図る ・交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス 山形市 天童市 | 平成29年10月より実施 令和2年4月1日より運用開始決定 令和4年度より運用開始予定 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ⑤ | ・運転免許証返納者への新たな支援策として、回数券購入利用券を交付 | 天童市 | 平成30年4月より実施 | | | | |
| (12) | 上山～仙台 | 山交バス 宮城交通 | A-1 | 貨客混載 | ① | ・佐川急便株式会社と仙台を結ぶ全ての路線で貨客混載が出来ないか現在協議中 ・運送事業者と協議し導入したい | 山交バス 佐川急便 宮城交通 | | | 定期券 増収率 2.0%増 | 634名×567円=359千円 359千円/17,955千円=2.0% (1,336便×2名)×単価955円 =2,551千円 月当たり 2,550千円 増 | 山形県側からは上市市内からの仙台への通勤通学が多く、宮城側からは東北芸術工科大学への通学が多い、この2つの要素だけでは収支がマイナスになることから、10/1より山形大学医学部(東日本重粒子センター)と連携し仙台圏からの利用増進を図っていく。 ミヤコーバス運行の宮城線内路線との乗り継ぎ券の販売により、平日の昼間、土日祝の利用促進を図る。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | | | 需要調査実施結果に基づきダイヤ改正の見直しを実施済R3.4.1 | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | かみやま温泉と仙台圏からの利用者増に向けて日帰りバック商品や乗り継ぎ券を作成し販売する | 山交バス 宮城交通 | | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ③ | 交通系ICカード(地域連携ICカード)導入予定R4.4.1 | 山交バス | 令和4年4月1日 導入予定 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ④ | ・交通系ICカード導入 ・山形大学病院近くに停留所を新設する。 | 宮城交通 | 平成27年12月導入済 令和3年10月1日実施予定 | | | | |
| (13) | 米沢～仙台 | 山交バス JRバス | A-1 | 貨客混載 | ① | 佐川急便株式会社と仙台を結ぶ全ての路線で貨客混載が出来ないか現在協議中 | 山交バス 佐川急便 | | | 増収率 2.0%増 | 429名×1,683円=727千円 727千円/36,385千円=2.0% | 山形県側からは冬季間の降雪による奥羽本線の運休の代替手段としても利用されている。宮城側からは山形大学工学部への通学でも利用されている。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | | | 需要調査実施結果に基づきダイヤ改正の見直しを実施済(東北中央道経由) | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | 白布温泉・小野川温泉と連携し仙台圏からの利用者増に向けて宿泊パックを作成し販売する。 | 山交バス JRバス東北 | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ③ | ・東北DOを見据えたTOHOKU Maasにおいて乗車券の発売を実施 | JR東日本 山交バス JRバス東北 | 令和3年4月より実施 | | | | |
| | | | D | その他 利用促進 | ④ | 交通系ICカード(地域連携ICカード)導入予定R4.4.1 | 山交バス | 令和4年4月1日 導入予定 | | | | |
| D | その他 利用促進 | ⑤ | ・道の駅米沢において、パークアンドバスライドを実施し、お客さまの利便向上を図った ・車内に無料WiFi設置 | 山交バス JRバス東北 | 平成30年4月20日より実施 | | | | | | | |
| D | その他 利用促進 | ⑥ | ・運行経路を国道19号線から東北中央自動車道経由とし、速達性、定時性の向上を図った。 | 山交バス JRバス東北 | 平成29年11月4日より実施 | | | | | | | |

| 申請 番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | |
|----------|---------|----------------|---------------|----------|---|--------------------|---|---------------------------------|------------------------------|---|---|---|
| | | | 取組みの 種類 | 取組 番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | | 目標数値の算出根拠 | |
| (14) | 新庄～仙台 | 山交バス | A-1 | 貨客混載 | ① 佐川急便株式会社と仙台を結ぶ全ての路線で貨客混載が出来ないか現在協議中 | 山交バス 佐川急便 | | | | 定期券 増収率 2.0%増 | 1,050名×481円＝505千円 505千円/25,272千円＝2.0% | 圏上地方からは仙台まではバスが豊裕であり冬期間も運休することが非常に少ない。また、舟形・尾花沢・村山・東根と多くを結ぶことで利便増進を図っている。また、河北町・寒河江市・天童市などのバス停と隣接する市町村からの定期券利用者も多い。 |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | | 需要調査実施結果に基づきダイヤ改正の見直しを実施済R3.4.1 | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② 東根温泉と連携し仙台圏からの利用者増に向けて日帰りパックを作成し販売する。 | 山交バス | | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ 交通系ICカード(地域連携ICカード)導入予定R4.4.1 | 山交バス | 令和4年4月1日 導入予定 | | | | | |
| (15) | 県立病院～金山 | 山交バス線 | A-1 | 貨客混載 | | | | *運送事業者からの特段の要請があれば検討 | 増収率 3.0%増 | 3,505名増×105円＝368千円 368千円/12,289千円＝3.0% | (平成29年度より地域公共交通網形成計画の策定に着手) (金山町) *新庄・金山間を結ぶ公共交通機関は山交バス唯一であり、通院及び学生の移動手段として重要しています。 *これまでは、家族、親類、近所の方のサポートにより買い物等に課題を抱える高齢者が少なかったと思われすが、今後は、サポートしていた方々も高齢になってしまい、バス路線を維持することで移動手段を確保できる方が増えたと考えられますので、路線維持は必須であると考えています。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | *令和5年の県立病院移転に伴う経路変更(路線再編)を新庄市、金山町と協議検討。 | 山交バス 新庄市 金山町 | 令和3年より検討予定 令和5年度より実施予定 | | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ① 新庄駅を拠点とした乗り換えに関して、わかりやすい案内表示や路線マップを作成 | 山交バス 新庄市 金山町 | 平成29年10月より検討開始 | | | | | |
| | | | | | ② 温泉街などの観光地を対象とした圏上地域共通の乗車券を作成し、広域での販売を検討 | 山交バス 新庄市 金山町 | 平成29年10月より検討開始 | | | | | |
| | | | | | ③ 沿線の町内会へ説明会や乗り方教室を実施 新庄市内の3町内会において乗り方教室を実施 | 山交バス 新庄市 金山町 | 平成29年10月より検討開始 平成30年12月、平成31年1月実施 | | | | | |
| | | | | | ④ 北原小学校の廃校により新しく明倫学園に通う生徒を対象に金山線利用のための定期券の案内と乗り方教室を実施 | 山交バス | 令和3年3月実施 | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ④ 「もがみ1日乗車券」や路線限定した格安の乗車券の販売を目指す | 山交バス 新庄市 金山町 | 平成29年10月より検討開始 | | | | | |
| | | | | | ⑤ 「運賃値下げの検討 *金山町報、新庄市報を利用した町民市民に対する周知徹底などのPR活動 | 山交バス 新庄市 金山町 | 平成31年4月より実施検討 平成31年3月報に掲載 | | | | | |
| | | | | | ⑥ *交通系ICカード導入に向けた準備(R4年度導入予定) | 山交バス | 令和4年度より運用開始予定 | | | | | |
| (16) | 県立病院～肘折 | 南新庄輸送サービス(大蔵村) | A-1 | 貨客混載 | ① 「スーパー等と連携した買物代行サービスについて検討 | 新庄輸送サービス(大蔵村) | 平成30年5月より実証実験実施したが商業ベースに至らず、但し地元輸送需要あり輸送支援で継続中。 | | 運行回数 5.6回 輸送量 15.1回 | 移動機会の最適な確保として 5.6回 輸送量 乗車密度2.7人×5.6回 | *新庄・大蔵間はJRがなく、路線バスが地域の中核である新庄市までの通院、通学のための唯一の移動手段である。 *国道沿いに集落が点在しており、定時定路線型の運行が最も効率的であり、その中でH29年4月より地域のニーズに合わせて車両を中型バスからマイクロバスに変更して運行中。 (新庄市) *圏上地域で唯一精神科が設置されている(新庄明和病院)まで行くことができる唯一の移動手段である。精神科に通院する患者は自ら自動車を運転することが難しい方もおり、当該路線がなければ新庄駅から約5キロメートルを徒歩等で進むなければならなくなるため、当該路線の維持を希望する。 (大蔵村) *本線が廃線となると大蔵村の大半が交通空白地帯となり、また、通学・通勤・通院・買物には新庄市への乗り入れが必須となることから、この路線は必要である。また、JRなどの鉄道がないため代替輸送手段への転換もできない。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ② 新幹線等着陸時間に合わせたダイヤ改正・増便(6→7便) | 新庄輸送サービス(大蔵村) | 平成29年4月より実施済み | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | ③ 本路線に対する村営スクールバスの接続の改善を検討 | 新庄輸送サービス(大蔵村) | 平成29年10月より検討開始 平成30年10月より接続改善 | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ④ 日帰り温泉パック等の商品開発 | 新庄輸送サービス(大蔵村) | 平成30年4月より肘折温泉-新庄間往復券(割引)を作成し利用を促進。 | | | | | |
| | | | D | その他 | | | | | | | | |
| (17) | 鏡山線 | (有)はながきバス | A-1 | 貨客混載 | | | | 特に冬期は満員状態となるため、車両の改造が困難。 | 乗車人数 18,137人 | コロナ禍の影響を受け、令和3年5月末現在の乗車人数が前年の半分に達していない事から、目標数値は令和2年度利用客数の45%とする。 令和2年乗車人数40,305人×45%＝18,137人 | *鏡山温泉の最寄り駅・大石田駅から唯一の路線バスである。 *鏡山温泉への観光目的の移動手段として、利用目的が多い路線である。 *地域住民や高齢者に対する生活路線となる重要な路線である。 | |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ① 主に首都圏からの観光客の増加を目的としたPR活動 | はながきバス | 令和4年度より実施検討 | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | | | | | | | | |

| 申請番号 | 運行系統名 | 運行予定者 | 具体的な生産性向上の取組み | | | | | | 当該取組みの効果目標 | | その他 路線の必要性 代替輸送手段への転換ができない理由 路線の維持を希望する市町村の意見 | | | | |
|------|-------------------------|--------------|---|--------------|---------------|--|---------------------------|--|----------------|-----------|--|--|---|--|--|
| | | | 取組みの種類 | 取組番号 | 具体的な実施内容 | 実施主体 | スケジュール | 実施できない理由 | 指標 目標数値 | 目標数値の算出根拠 | | | | | |
| (18) | 山形～鶴岡 | 山交バス 庄内交通 | A-1 | 貨客混載 | ① | 佐川急便株式会社と仙台を結ぶ全ての路線で貨客混載が出来ないか現在協議中 | 山交バス 佐川急便 | | | | | 増収率 2.0%増 | 222名×1,997円＝445千円 445千円/22,295千円＝2.0% | 山形庄内地方と村山地方を直通で行き来できる唯一の交通手段であり、月山や湯殿山などの観光路線としても多くのお客様に利用されている。 | |
| | | | | | ② | 新聞の輸送 | 庄内交通 | | | | | | | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | | | | | | | | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ③ | 山形鶴岡間2回券+「つるおか1日乗り放題」の拡販及び湯の浜温泉宿泊プランの商品開発 | 山交バス 庄内交通 | | | | | | | | |
| | | | | | ④ | 観光利用促進の為、湯殿山口BSの新設による観光地との乗り継ぎ強化に伴う利便性向上 | 庄内交通 山交バス | 令和3年7月より実施予定 | | | | | | | |
| D | その他利用促進 | ⑤ | 交通系ICカード(地域連携ICカード)導入予定 | 山交バス 庄内交通 | 令和4年4月1日 導入予定 | | | | | | | | | | |
| (19) | 鶴岡～三川 | 庄内交通㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | 朝晩(特に冬期間)は通学、通勤客で満員のため、車両の改造が困難 | | | | (新設運行系統) 補助対象経常費用の見込み額 11/20 17,321千円 | ・鶴岡市・酒田市を結ぶJR羽越本線を補完する重要な路線であり、通年、日常生活・通学に利用されている。 | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | 利用実態及び地域需要に見合った路線形態の検討 | 庄内交通 鶴岡市 三川町 | 令和3年10月より既路線を分割再編予定 | | | | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | 「つるおか1日乗り放題」の拡販 | 庄内交通 鶴岡市 | 平成29年9月より販売開始 | | | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ | 「学生100円バス」の利用者拡大への周知施策 | 庄内交通 鶴岡市 | 平成29年7月より検討開始、関係者協議 平成30年2月より運賃設定開始。 | | | | | | | |
| | | | | | ④ | ・地域(高齢者)の利用促進の為、路線別時刻表の作成および居住者が多い路線地域をターゲットとし停留所300m区域へのポストイン告知を計画 ・観光利用者の利用促進の為、路線別時刻表の作成及び配布 | 庄内交通 | (地域)令和3年10月ダイヤ改正に向け、ポストイン告知予定 (観光)ターミナルや駅への設置 | | | | | | | |
| ⑤ | ・利便性向上のためバスロケーションシステム導入 | 庄内交通 | 令和1年12月23日よりサービス開始 動画配信およびイベント開催による周知を計画 | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ | ・交通系ICカード導入計画 | 庄内交通 | 令和4年3月頃より運用開始予定 | | | | | | | | | | | | |
| (20) | 三川～酒田 | 庄内交通㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | 朝晩(特に冬期間)は通学、通勤客で満員のため、車両の改造が困難 | | | | (新設運行系統) 補助対象経常費用の見込み額 11/20 16,286千円 | ・鶴岡市・酒田市を結ぶJR羽越本線を補完する重要な路線であり、通年、日常生活・通学に利用されている。 | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | 利用実態及び地域需要に見合った路線形態の検討 | 庄内交通 鶴岡市 酒田市 三川町 | 令和3年10月より既路線を分割再編予定 | | | | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | 「つるおか1日乗り放題」の拡販 | 庄内交通 | 平成29年9月より販売開始 | | | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ | 「学生100円バス」の利用者拡大 | 庄内交通 | 平成29年7月より検討開始、関係者協議 平成30年2月より運賃設定開始。 | | | | | | | |
| | | | | | ④ | ・地域(高齢者)の利用促進の為、路線別時刻表の作成および居住者が多い路線地域をターゲットとし停留所300m区域へのポストイン告知を計画 ・観光利用者の利用促進の為、路線別時刻表の作成及び配布 | 庄内交通 | (地域)令和3年10月ダイヤ改正に向け、ポストイン告知予定 (観光)ターミナルや駅への設置 | | | | | | | |
| ⑤ | ・利便性向上のためバスロケーションシステム導入 | 庄内交通 | 令和1年12月23日よりサービス開始 動画配信およびイベント開催による周知を計画 | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ | ・交通系ICカード導入計画 | 庄内交通 | 令和4年3月頃より運用開始予定 | | | | | | | | | | | | |
| (21) | 鶴岡(ゆほひ)いでは文化 記念館 | 庄内交通㈱ | A-1 | 貨客混載 | | | | 観光シーズンは満員のため、車両の改造が困難 | | | | (新設運行系統) 補助対象経常費用の見込み額 11/20 21,586千円 | ・鶴岡市街と旧黒町中心部を結ぶ唯一の公共交通手段であり、日常生活・通学に利用されている。 ・出羽三山の日本遺産登録等により、シーズン中の観光目的利用も多い重要な路線 | | |
| | | | A-2 | 路線再編 | ① | 利用実態及び地域需要に見合った路線形態の検討 | 庄内交通 鶴岡市 | 令和3年10月より既路線を分割再編予定 | | | | | | | |
| | | | A-3 | 混乗化 | | | | | 当該路線と競合する路線がない | | | | | | |
| | | | A-4 | 観光利用促進 | ② | 「つるおか1日乗り放題」の拡販 | 庄内交通 | 平成29年9月より販売開始 | | | | | | | |
| | | | D | その他利用促進 | ③ | 「学生100円バス」の利用者拡大 | 庄内交通 | 平成29年7月より検討開始、関係者協議 平成30年2月より実施。販売施策を検討中 | | | | | | | |
| | | | | | ④ | ・地域(高齢者)の利用促進の為、路線別時刻表の作成および居住者が多い路線地域をターゲットとし停留所300m区域へのポストイン告知を計画 ・観光利用者の利用促進の為、路線別時刻表の作成及び配布 | 庄内交通 | (地域)令和3年10月ダイヤ改正に向け、ポストイン告知予定 (観光)ターミナルや駅への設置 | | | | | | | |
| ⑤ | ・利便性向上のためバスロケーションシステム導入 | 庄内交通 | 令和1年12月23日よりサービス開始 動画配信およびイベント開催による周知を計画 | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ | ・交通系ICカード導入計画 | 庄内交通 | 令和4年3月頃より運用開始予定 | | | | | | | | | | | | |